

## TI Designs

# 2線式、4~20mA電流ループ・システム用、RTD温度トランスミッタ

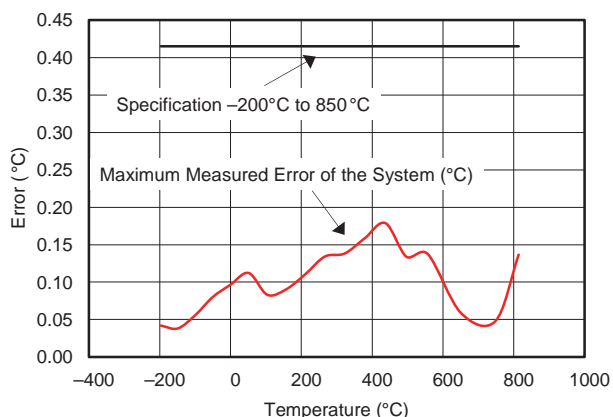


## TI Designs

TI Designsは、システムをすばやく評価してカスタマイズするために必要な、手法、テスト、デザイン・ファイルなどの基盤を提供し、開発期間の短縮に役立ちます。

## デザイン・リソース

TIDA-0095	デザイン・ファイルを含む ツール・フォルダ
ADS1220	製品フォルダ
DAC161S997	製品フォルダ
MSP430G2513	製品フォルダ
TPS7A4901	製品フォルダ



## デザインの特長

このRTD温度トランスミッタは、RTDプローブをサポートする4~20mAの電流ループ・リファレンス・デザインです。

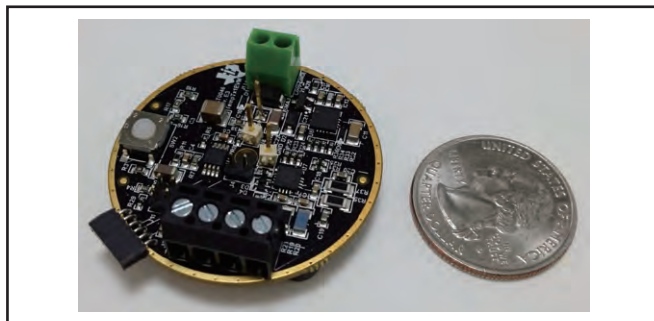
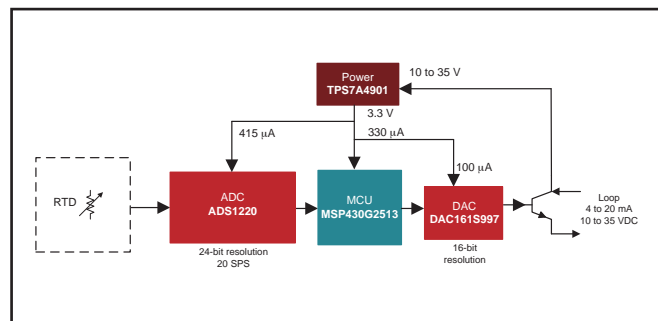
- 入力は、2、3、4線式RTDプローブに対応
- 4~20mAの電流ループ信号出力
- 1.4mA (RTDバイアス電流含む)の低消費電流により、ループ駆動システムに最適
- 出力分解能：0.25 $\mu$ A
- 最大測定誤差：0.11 $^{\circ}$ C (-200 $^{\circ}$ C~200 $^{\circ}$ C)、0.17 $^{\circ}$ C (-200 $^{\circ}$ C~850 $^{\circ}$ C)
- 電源による影響は10~30Vで0.3 $\mu$ A
- RTD温度範囲：-200 $^{\circ}$ C~850 $^{\circ}$ C
- IEC61000-4-2：ESD：気中放電： $\pm$ 8kV Class A
- IEC61000-4-4：EFT  $\pm$ 2kV Class A

## 主なアプリケーション

- ファクトリー・オートメーションとプロセス制御
- センサおよびフィールド・トランスミッタ
- ビルディング・オートメーション
- 携帯型計測機器



[ASK Our Analog Experts](#)  
[WebBench Calculator Tools](#)



An IMPORTANT NOTICE at the end of this TI reference design addresses authorized use, intellectual property matters and other important disclaimers and information.

この資料は、Texas Instruments Incorporated (TI) が英文で記述した資料を、皆様のご理解の一助として頂くために日本テキサス・インスツルメンツ (日本TI) が英文から和文へ翻訳して作成したものです。

資料によっては正規英語版資料の更新に対応していないものがあります。日本TIによる和文資料は、あくまでもTI正規英語版をご理解頂くための補助的参考資料としてご使用下さい。

製品のご検討およびご採用にあたりましては必ず正規英語版の最新資料をご確認下さい。

TIおよび日本TIは、正規英語版にて更新の情報を提供しているにもかかわらず、更新以前の情報に基づいて発生した問題や障害等につきましては如何なる責任も負いません。

TIDU182A 翻訳版

最新の英語版資料  
<http://www.ti.com/lit/tidu182>

# 1 主なシステム仕様

Parameter	Specifications and Features	Details	
Probe Type	2-wire, 3-wire, and 4-wire RTD MSP430 Firmware supports PT-100 RTD by default	See <a href="#">Section 5.3</a>	
Output Signal	4 to 20 mA	See <a href="#">Table 8</a>	
Temperature Range for RTD	–200°C to 850°C	See <a href="#">Figure 47</a>	
Power Supply Range	10 to 35-V DC	See <a href="#">Section 7</a>	
Error Current	Low: 3.375 mA (typical) High: 21.75 mA (typical)	See <a href="#">Figure 23</a>	
Loop Power Consumption	1.4 mA (typical) of DAC, ADC, MSP, and LDO including 500 $\mu$ A of RTD biasing currents	See <a href="#">Section 6.9</a>	
Reverse Polarity on Input Power	Supported	See <a href="#">Section 4.9</a> and <a href="#">Section 6.8</a>	
Ambient Temperature	–40°C to 85°C	See <a href="#">Section 8</a>	
Input Resolution	0.029°C (noise free resolution of the analog front-end) ADS1220: PGA gain = 16, $V_{REF} = 1.62$ V Sampling rate: 20 samples per second (SPS)	See <a href="#">Section 6.2</a>	
Output Resolution	0.25 $\mu$ A	See <a href="#">Section 6.4</a>	
System Accuracy or Maximum Measured Error	0.11°C (–200°C to 200°C) 0.17°C (–200°C to 850°C)	See <a href="#">Section 6.6</a>	
Power Supply Influence	Deviation of 0.3 $\mu$ A from 10 V to 30 V	See <a href="#">Section 6.7</a>	
IEC ESD on Loop Power	IEC61000-4-2, ESD	Horizontal coupling plane	See <a href="#">Section 4.11</a> and <a href="#">Section 6.10</a>
		Vertical coupling Plane: $\pm 4$ kV — Class A	
		Air discharge: $\pm 8$ kV — Class A	
IEC EFT on Loop Power	IEC61000-4-4	EFT: $\pm 2$ kV — Class A	
Calibration	ADC	Offset and gain calibration	See <a href="#">Section 4.6</a> and <a href="#">Section 4.7</a>
	DAC		
RTD non-linearity	–200°C to 850°C lookup table with 1°C resolution implemented in the MSP430 Firmware to resolve non-linearity of RTD or the Callendar-Van Dusen relationship between resistance and temperature.		See <a href="#">Section 4.2</a>
Connectivity Interface	UART, via a <a href="#">USB to UART dongle</a>		See <a href="#">Figure 24</a>
Form Factor	1.588-inch diameter, circular board		See <a href="#">Figure 61</a>

## 2 システム説明

この包括的なデザインは、2線式、3線式、4線式の抵抗温度検出器 (RTD) から入力される温度信号を測定および処理するための完全なシステムを提供します。RTD入力から処理された温度に対応して、4~20mAの電流ループ信号を出力します (図1を参照)。このリファレンス・デザインは、ファクトリー・オートメーション、フィールド・トランスミッタ、ビルディング・オートメーションなどで使用されるプロセス測定アプリケーション向けに作成されています。-200°C~850°Cの範囲内で最大測定誤差は0.17°C未満であり、RTDバイアス電流を含めたループ消費電流は1.4mA (標準) と非常に低くなっています。また、IEC61000への準拠についてもテスト済みです。これらの特長により、このデザインは、高精度温度トランスミッタ・システムの開発期間を大きく短縮するのに役立ちます。また、ADCおよびDACの精度を向上させるため、オフセットとゲインの両方についてシステム・レベルの校正をサポートしています。このデザインには、RTD素子の非直線性に対処するために、線形補間も内蔵されています。このリファレンス・デザインは、小さな産業用フォーム・ファクタで4~20mAの電流を出力する温度トランスミッタについて、ハードウェアおよびファームウェア設計の包括的なガイドラインとなります。デザイン・ファイルには、回路図、部品表 (BOM)、レイヤ・プロット、Altiumファイル、Gerberファイル、およびMSP430ファームウェアが含まれています。

このデザインに対する全体的なシステム・レベル要件は以下のとおりです。システム全体の誤差仕様を満たすために、4~20mAの電流ループ精度で、精密なレシオメトリックRTD測定を実行する必要があります。システムの最大測定誤差は、-200°C~850°Cの範囲で約0.4°C以下とします。静止電流は、3.5mA未満のシステム・アラーム要件を満たす必要があります。また、全体のフォーム・ファクタを小型化し、低コストかつ低消費電力のプロセッサで、ADCおよびDACのゲイン/オフセット校正、およびRTD参照テーブルを使用した線形補間を実行できる必要があります。これらの要件をサブシステム・レベルで実現するために、ADC、DAC、プロセッサ、および電源管理の要件を次に示します。

### ADC

- レシオメトリックな測定を実装するために、電流励起とバッファ付きリファレンス入力を備えたADC
  - ループ電力要件を満たす低消費電力
  - 低ノイズで入力インピーダンスの高いPGA
  - デザインのフォーム・ファクタ要件を満たす小型パッケージ
  - 50Hzと60Hzの同時除去による商用電源からのノイズ・フィルタリング
  - 200°C~850°Cでシステムの全体精度 (0.4°C) よりも10倍小さいターゲット分解能
- これらのADCサブシステム要件を満たすデバイスとして、24ビットのシグマ・デルタADCであるADS1220を選択しました。

### DAC

- 4~20mAの電流ループをサポートするDAC
  - 200°C~850°Cでシステムの全体精度 (0.4°C) よりも10倍小さいターゲット分解能
  - デザインのフォーム・ファクタ要件を満たす小型パッケージ
  - ADCと同様なMCU制御インターフェイス
- これらのDACサブシステム要件を満たすデバイスとして、16ビット分解能のDAC161S997を選択しました。

### プロセッサ

- ゲインおよびオフセット校正を含むすべての計算を実装するための浮動小数点演算ユニット
  - 浮動小数点演算とともにPT-100参照テーブルをサポートするための16kフラッシュ
  - デバッグ用のCOMポート通信を可能にするUARTインターフェイス
  - ADCおよびDACとの通信用にSPIまたは等価なインターフェイス
  - 低コストおよび低消費電力
- 全体的な低コスト設計のために、価格の手頃なMSP430デバイスを選択しました。上記のプロセッサ要件を満たすために、16kフラッシュ・オプションを選択しています。

### 電源管理

- 10~35Vの電源から公称3.3Vを生成
- 高PSRR、低ノイズにより、システム精度に対する電源の影響を低減
- 小さなフォーム・ファクタ

- 低ドロップアウト・レギュレータ(LDO)を選択する場合は、アプリケーションの接合部温度が上限を超えないように低い $\theta_{JA}$  これらの電源管理要件を満たすデバイスとして、TPS7A4901(LDO)を選択しました。

このデザインでは、高集積デバイスを使用することで、4チップのシステム・ソリューションを実現しています。テキサス・インスツルメンツのA/Dコンバータ(ADC)であるADS1220デバイス(図2を参照)は、2線式、3線式、4線式のRTDプローブおよびMSP430™マイコンとインターフェイスします(図4を参照)。マイコン(MCU)は、システム校正用アルゴリズムを含むアプリケーション・ファームウェアを実行します(4.6節、4.7節、4.2節を参照)。出力は、TIのDACであるDAC161S997デバイス(図3を参照)によって制御されます。DAC161S997はMSP430とインターフェイスして、RTD温度の測定値に比例した4~20mAの出力電流を供給します(図45を参照)。TIの低ドロップアウト・レギュレータ(LDO)であるTPS7A4901デバイスは、システムに電源を供給します(図5を参照)。TPS7A4901デバイスの入力電圧範囲は3~36Vであり、ノイズは非常に小さく(15.4 $\mu$ V<sub>RMS</sub>、72dB PSRR)、優れた温度特性を備えています。また、デザインには、逆極性保護機能に加えて、ループ電源入力にIEC61000-4-2およびIEC61000-4-4の保護も備えています。

## 2.1 ADS1220

ADS1220デバイス(ADCとも呼ばれます)は、高精度の24ビットA/Dコンバータ(ADC)であり、小さなセンサ信号を測定するアプリケーションでシステムのコストと部品数を削減するための多くの機能を内蔵しています。柔軟な入力マルチプレクサ(mux)を通じた2つの差動入力または4つのシングルエンド入力と、低ノイズのプログラマブル・ゲイン・アンプ(PGA)、2つのプログラマブルな励起電流源、電圧リファレンス、発振回路、ローサイド・スイッチ、および高精度温度センサを搭載しています。

このデバイスは、最大2000サンプル毎秒(SPS)のデータ・レートで変換を実行し、1サイクルで安定します。20 SPSでは、ノイズの多い産業アプリケーションに対して、デジタル・フィルタにより50Hzと60Hzの同時除去を行います。内部PGAのゲインは最大128V/Vです。このPGAにより、ADS1220は、抵抗温度検出器(RTD)、熱電対、サーミスタ、ブリッジ・センサなど、小さなセンサ信号を測定するアプリケーションに最適です。PGAを使用したとき、デバイスは擬似差動信号または完全差動信号の測定をサポートします。または、内部PGAをバイパスするよう設定することで、引き続き高い入力インピーダンスと最大4V/Vのゲインを提供しながら、シングルエンド測定を実行できます。

PGAをディスエーブルにしたデューティ・サイクル・モードで動作している場合、消費電流はわずか120 $\mu$ Aです。デバイスとの通信は、モード1のSPI互換インターフェイスを使用して確立されます。ADS1220デバイスは、リードレスのQFN-16またはTSSOP-16パッケージで供給され、-40°C~125°Cの温度範囲で仕様が規定されています。ADS1220のブロック図については、図2を参照してください。

## 2.2 DAC161S997

DAC161S997デバイス(DACとも呼ばれます)は、超低消費電力の16ビット・シグマ・デルタD/Aコンバータ(DAC)であり、業界標準である4~20mAの電流ループでアナログ出力電流を送信できます。DAC161S997デバイスは、データ転送およびDAC機能の設定用に、単純な4線式SPIを備えています。コンパクトなループ駆動アプリケーションで消費電力および部品数を削減するために、DAC161S997デバイスには、超低消費電力の内部電圧リファレンスおよび内部発振回路が搭載されています。DAC161S997デバイスは消費電力が低いため、システムの残りの部分に追加の電流が使用可能になります。DAC161S997デバイスのループ・ドライブは、HART(Highway Addressable Remote Transducer)変調器にインターフェイスされ、FSK変調されたデジタル・データを4~20mAの電流ループに注入することが可能です。これらの仕様および機能の組み合わせにより、DAC161S997デバイスは2線式および4線式の産業用トランスミッタに最適です。DAC161S997は、4mm x 4mmの16ピンWQFNパッケージで供給され、-40°C~105°Cの拡張産業用温度範囲で仕様が規定されています。DAC161S997のブロック図については、図3を参照してください。

## 2.3 MSP430G2513

TIが提供するMSP430ファミリの超低電力マイコンは、さまざまなアプリケーション向けに異なる周辺機能を搭載したいくつかのデバイスから構成されています。アーキテクチャは、5つの低電力モードとの組み合わせにより、ポータブル計測アプリケーションで長いバッテリー寿命を実現できるように最適化されています。このデバイスは、強力な16ビットRISC CPU、16ビットレジスタ、およびコード効率の最大化に貢献する定数ジェネレータを備えています。デジタル制御発振器 (DCO) により、低電力モードからアクティブ・モードへのウェイクアップを1 $\mu$ s未満で実現します。

MSP430G2513デバイスは、超低消費電力のミックスド・シグナル・マイコンであり、内蔵16ビット・タイマに加え、USCI (Universal Serial Communication Interface) をサポートした通信機能、および多目的アナログ・コンパレータを搭載しています。

標準的なアプリケーションとしては、アナログ信号をキャプチャしてデジタル値に変換し、ディスプレイ表示用またはホスト・システムへの送信用に処理を行う、低コスト・センサ・システムなどがあります。MSP430G2513のブロック図については、図4を参照してください。

## 2.4 TPS7A4901

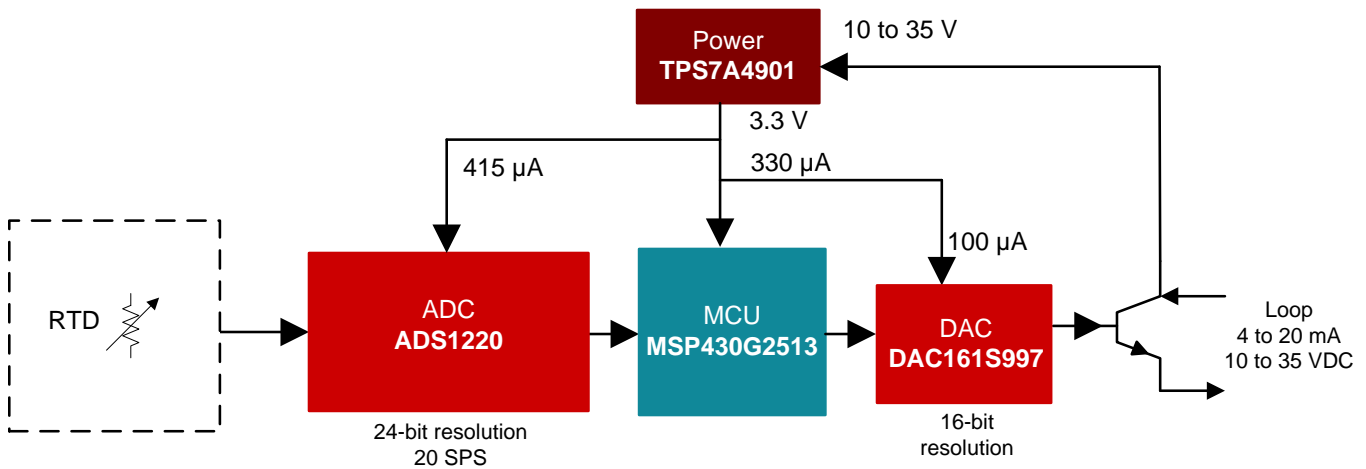
TPS7A4901デバイス(LDOとも呼ばれます)は、150mAの負荷電流を供給できる、高電圧 (36V)、超低ノイズ (15.4 $\mu$ V<sub>RMS</sub>、72dB PSRR) の正電圧リニア・レギュレータです。

これらのリニア・レギュレータは、CMOSロジック・レベル互換のイネーブル・ピンを搭載し、また、カスタマイズされた電源管理方式に対応できるコンデンサ・プログラマブルなソフト・スタート機能を備えています。さらに、内蔵の電流制限および過熱保護機能により、障害状態中にデバイスおよびシステムを損傷から保護します。

TPS7A49xxファミリは、バイポーラ・テクノロジーを使用して設計されており、システム性能を最大限に高めるためにクリーンな電圧レールを必要とする高精度計測アプリケーションに最適です。この設計により、TPS7A49xxは、パワー・オペアンプ、A/Dコンバータ(ADC)、D/Aコンバータ(DAC)、および他の高精度アナログ回路に対して優れた選択肢となります。

さらに、TPS7A49xxファミリのリニア・レギュレータは、DC/DCコンバータ出力のレギュレーションにも適しています。DC/DCスイッチング変換に固有の出力電圧リップルをフィルタリングして除去することにより、敏感な計測、試験・測定、オーディオ、およびRFアプリケーションで最高のシステム性能が得られます。TPS7A4901のブロック図については、図5を参照してください。

### 3 Block Diagram



**Figure 1. Temperature Transmitter System Block Diagram**

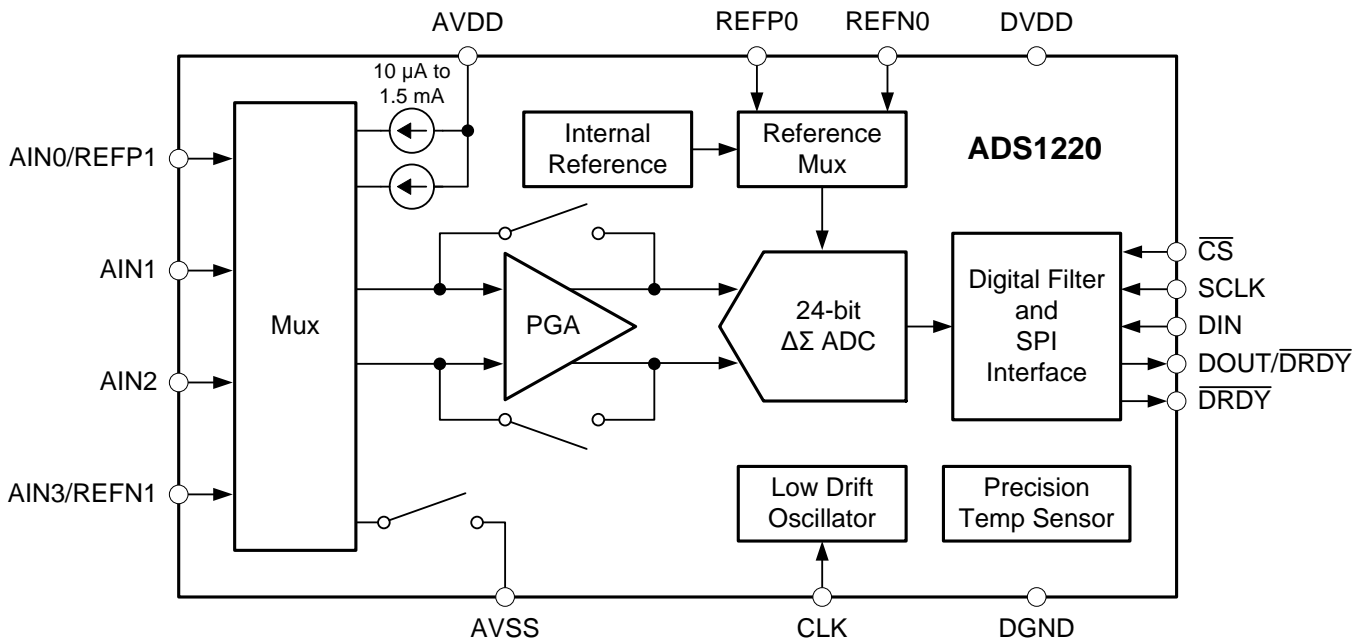
#### 3.1 Highlighted Products

The RTD Temperature Transmitter Reference Design features the following devices:

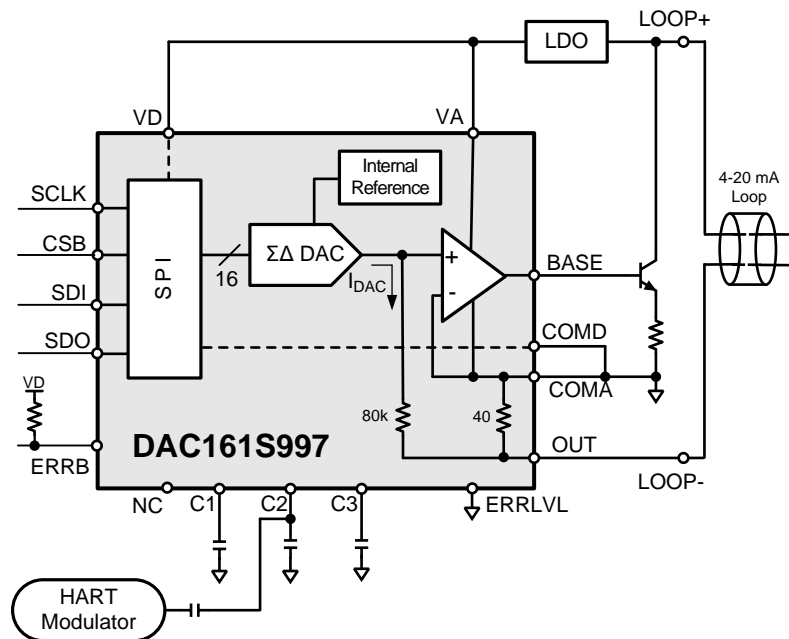
- ADS1220
  - Low-power, low-noise, 24-bit, analog-to-digital converter for small-signal sensors
- DAC161S997
  - SPI 16-bit precision DAC for 4 to 20-mA loops
- MSP430G2513
  - MSP4302513 mixed-signal microcontroller
- TPS7A4901
  - $V_I$  3-V to 36-V, 150-mA, ultra-low noise, high PSRR, low-dropout linear regulator

For more information on each of these devices, see the respective product folders at [www.TI.com](http://www.TI.com).



**3.1.1 ADS1220**

**Figure 2. ADS1220 Block Diagram**

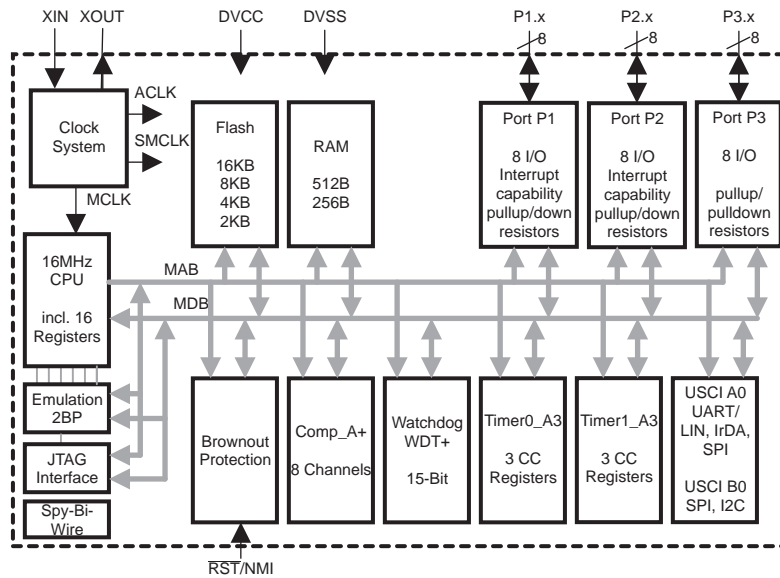
- Low current consumption:
  - Duty-cycle mode: 120  $\mu\text{A}$
  - Normal mode: 415  $\mu\text{A}$
- Wide supply range: 2.3 V to 5.5 V
- Programmable gain: 1 V/V to 128 V/V
- Programmable data rates: Up to 2 kSPS
- Simultaneous 50-Hz and 60-Hz rejection at 20 SPS with a single-cycle settling digital filter
- Low-noise PGA: 90 nV<sub>RMS</sub> at 20 SPS
- Dual-matched programmable current-sources: 10  $\mu\text{A}$  to 1500  $\mu\text{A}$
- Internal 2.048-V reference: 5 ppm/ $^{\circ}\text{C}$  (typical) drift
- Internal Oscillator: 2% (maximum) Accuracy
- Internal temperature sensor
- Two differential or four single-ended inputs
- SPI™-compatible interface
- Package: 3,5 mm × 3,5 mm × 0,9 mm QFN

**3.1.2 DAC161S997**

**Figure 3. DAC161S997 Block Diagram**

- 16-bit resolution
- Very-low supply current of 100  $\mu$ A
- 5 ppmFS/ $^{\circ}$ C gain error
- Pin-programmable power-up condition
- Loop-error detection and reporting
- Programmable output-current error levels
- Simple HART modulator interfacing
- Highly integrated feature set in a small-footprint WQFN-16 (4  $\times$  4 mm, 0,5 mm pitch)



### 3.1.3 MSP430G2513

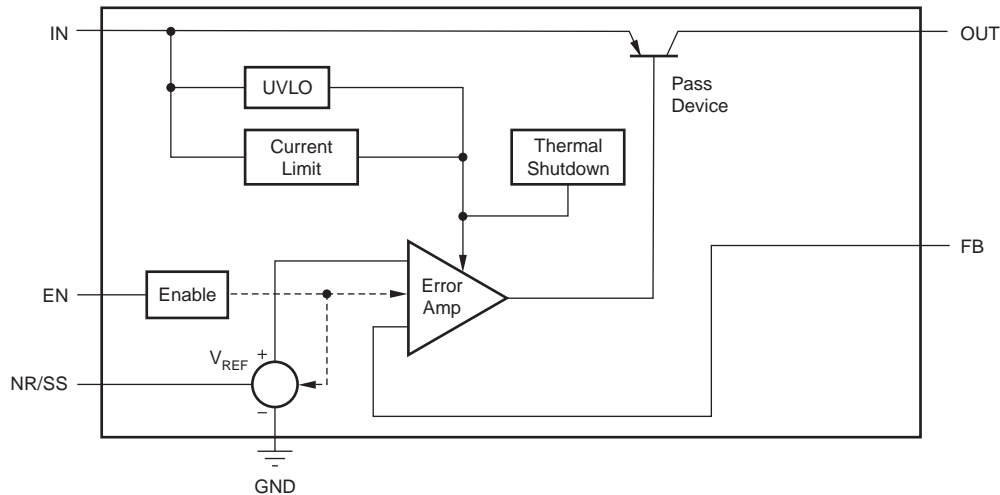


**Figure 4. MSP430G2513 Block Diagram**

- Low supply-voltage range: 1.8 V to 3.6 V
- Ultra-low power consumption
  - Active mode: 230  $\mu$ A at 1 MHz, 2.2 V
  - Standby mode: 0.5  $\mu$ A
  - Off mode (RAM retention): 0.1  $\mu$ A
- Five power-saving modes
- Ultra-fast wake-up from standby mode in less than 1  $\mu$ s
- 16-Bit RISC architecture, 62.5-ns instruction cycle time
- Basic clock module configurations
  - Internal frequencies up to 16 MHz with four calibrated frequency
  - Internal very-low-power low-frequency (LF) oscillator
  - 32-kHz crystal
  - External digital clock source
- Two 16-Bit Timer\_A with three capture and compare registers
- Up to 24 capacitive-touch enabled I/O pins
- Universal serial communication interface (USCI)
  - Enhanced UART supporting auto baud-rate detection (LIN)
  - IrDA encoder and decoder
  - Synchronous SPI
  - I<sup>2</sup>C
- On-chip comparator for analog signal-compare function or slope analog-to-digital (A-D) conversion
- 10-Bit 200-ksps analog-to-digital (A-D) converter with internal reference, sample-and-hold, and autoscan
- Brownout detector
- Serial onboard programming, no external programming voltage needed, programmable code protection by Security Fuse
- On-chip emulation logic with Spy-Bi-Wire interface
- Package options:

- TSSOP: 20 Pin, 28 Pin
- PDIP: 20 Pin
- QFN: 32 Pin
- For complete module descriptions, see the *MSP430x2xx Family User's Guide* ([SLAU144](#))

### 3.1.4 TPS7A4901



**Figure 5. TPS7A4901 Block Diagram**

- Input-voltage range: 3 V to 36 V
- Noise:
  - 12.7  $\mu\text{V}_{\text{RMS}}$  (20 Hz to 20 kHz)
  - 15.4  $\mu\text{V}_{\text{RMS}}$  (10 Hz to 100 kHz)
- Power-supply ripple rejection:
  - 72 dB (120 Hz)
  - $\geq 52$  dB (10 Hz to 400 kHz)
- Adjustable output: 1.194 V to 33 V
- Output current: 150 mA
- Dropout voltage: 260 mV at 100 mA
- Stable with ceramic capacitors  $\geq 2.2 \mu\text{F}$
- CMOS logic-level-compatible Enable pin
- Built-in, fixed, current-limit and thermal shutdown protection
- Available in high thermal performance MSOP-8 PowerPAD™ package
- Operating temperature range:  $-40^{\circ}\text{C}$  to  $125^{\circ}\text{C}$

## 4 System Design Theory

### 4.1 RTD Overview

A resistance temperature detector (RTD) is a sensing element made of a metal with predictable resistance characteristics over temperature. The temperature of an RTD is therefore calculated by measuring the resistance. RTD sensors offer wide temperature ranges, good linearity, and excellent long-term stability and repeatability which makes RTD sensors suitable for many precision applications.

The relationship between the resistance and temperature of an RTD is defined by the Callendar-Van Dusen (CVD) equations (see [Section 4.2](#)).

Most RTD applications use a current source as excitation for the RTD element. By driving a known current through the RTD, a voltage potential is developed that is proportional to the resistance of the RTD and the excitation current. This voltage potential is amplified and then fed to the inputs of an ADC, which converts the voltage into a digital output code that can be used to calculate the RTD resistance.

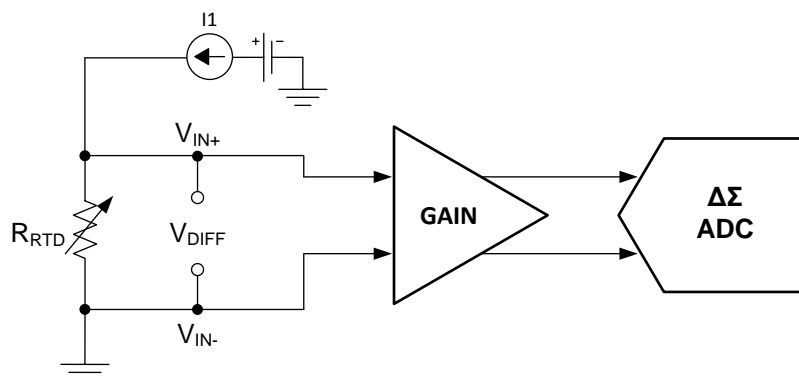


Figure 6. Simplified RTD Application

### 4.2 Callendar-Van Dusen Equations

#### 4.2.1 PT-100 RTD Information

The PT-100 RTD is a platinum-based RTD sensor. Platinum is a noble metal and offers excellent performance over a wide temperature range. Platinum also features the highest resistivity of commonly used RTD materials, requiring less material to create desirable resistance values. The PT-100 RTD has an impedance of 100 Ω at 0°C and approximately 0.385 Ω of resistance change per 1°C change in temperature. This impedance results in 18.52 Ω at –200°C and 390.481 Ω at 850°C. Higher-valued resistance sensors, such as PT-1000 or PT-5000, can be used for increased sensitivity and resolution.

Class-A RTDs are a good choice for this application to provide good pre-calibration accuracy and long-term stability. A Class-A RTD has less than 0.5°C of error at 100°C without calibration and the long-term stability makes accurate infrequent calibration possible. [Table 1](#) displays the tolerance, initial accuracy, and resulting error at 100°C for the five main classes of RTDs.

Table 1. RTD Class Tolerance Information

Tolerance Class (DIN-IEC 60751)	Tolerance Values (°C)	Resistance at 0°C (Ω)	Error at 100°C (°C)
AAA <sup>(1)</sup>	± (0.03 + 0.0005 × T)	100 ± 0.012	± 0.08
AA	± (0.01 + 0.0017 × T)	100 ± 0.04	± 0.27
A	± (0.15 + 0.002 × T)	100 ± 0.06	± 0.35
B	± (0.3 + 0.005 × T)	100 ± 0.12	± 0.8
C	± (0.6 + 0.01 × T)	100 ± 0.24	± 1.6

<sup>(1)</sup> AAA is not included in the DIN-IEC 60751 specification but is an industry accepted tolerance for performance demanding applications.

For positive temperatures the CVD equation is a second-order polynomial as shown in Equation 1.

$$RTD(T) = R_0 \times [1 + A(T) + B(T)^2] \tag{1}$$

For negative temperatures from  $-200^{\circ}\text{C}$  to  $0^{\circ}\text{C}$ , the CVD equation expands to a fourth-order polynomial shown in Equation 2.

$$RTD(T) = R_0 \times [1 + A(T) + B(T)^2 + C(T)^3 \times (T - 100)] \tag{2}$$

The coefficients in the Callendar-Van Dusen equations are defined by the IEC-60751 standard.  $R_0$  is the resistance of the RTD at  $0^{\circ}\text{C}$ . For a PT-100 RTD with an alpha ( $\alpha$ ) of 0.00385, the coefficients are shown in Equation 3.

$$\begin{aligned} R_0 &= 100 \ \Omega \\ A &= 3.9083 \times 10^{-3} {}^{\circ}\text{C} \\ B &= -5.775 \times 10^{-7} {}^{\circ}\text{C} \\ C &= -4.183 \times 10^{-12} {}^{\circ}\text{C} \end{aligned} \tag{3}$$

The change in resistance of a PT-100 RTD from  $-200^{\circ}\text{C}$  to  $850^{\circ}\text{C}$  is shown in Figure 7.

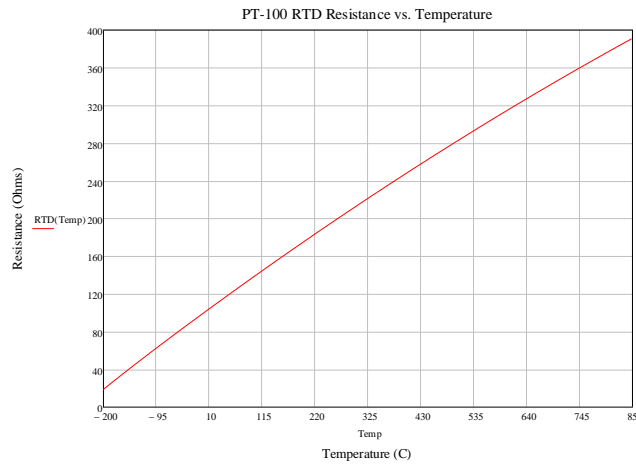


Figure 7. PT-100 RTD Resistance from  $-200^{\circ}\text{C}$  to  $850^{\circ}\text{C}$

While the change in RTD resistance is fairly linear over small temperature ranges, Figure 8 shows the resulting non-linearity if an end-point fit is made to the curve shown in Figure 7. The results show approximately 0.375% non-linearity and illustrate the necessity for digital calibration.

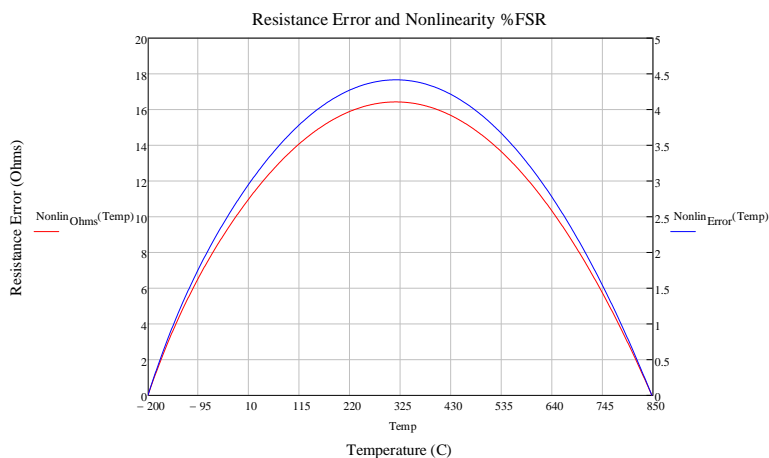


Figure 8. PT-100 RTD Non-Linearity from  $-200^{\circ}\text{C}$  to  $850^{\circ}\text{C}$

In this reference design, a lookup table for the PT-100 (see [Figure 32](#) and [Figure 33](#)) with a resolution of 1°C is used for linear interpolation. The RTD value is computed after offset and gain calibration. Then this RTD value is used in linear interpolation of the line segment involving two surrounding points in the PT-100 table. If additional accuracy is desired, a table with more points with less than 1°C or more accurate curve fit can be stored as a look up reference table.

### 4.3 ADC RTD Measurement

The ADS1220 device integrates all required features (such as dual-matched programmable current sources, buffered reference inputs, and PGA) to ease the implementation of ratiometric 2-wire, 3-wire, and 4-wire RTD measurements.

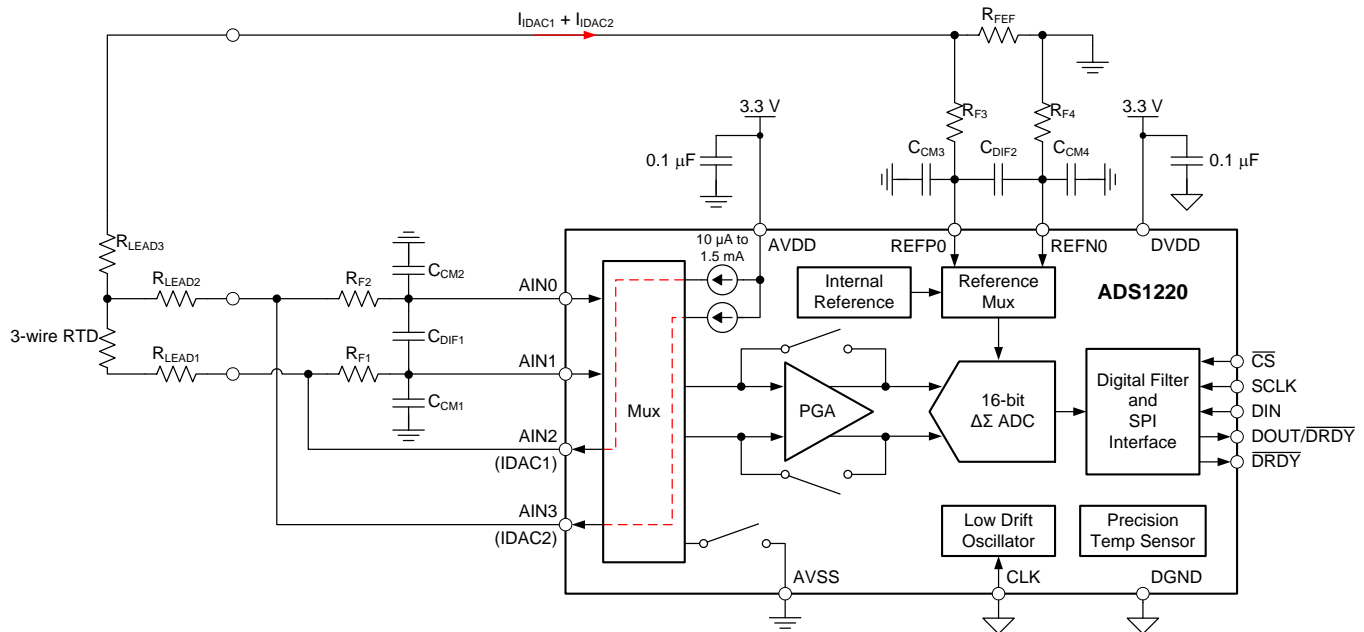


Figure 9. 3-Wire RTD Measurement

The circuit in [Figure 9](#) employs a ratiometric measurement approach. In other words, the sensor signal (the voltage across the RTD) and the reference voltage for the ADC are derived from the same excitation source. Therefore, errors resulting from temperature drift or noise cancel out because these errors are common to both the sensor signal and the reference.

In order to implement a ratiometric 3-wire RTD measurement using the ADS1220 device, IDAC1 is routed to one of the excitation leads of the RTD while IDAC2 is routed to the second excitation lead. Both currents have the same value, which is programmable by bits IDAC[2:0] in the configuration register. The design of the ADS1220 device ensures that both IDAC values are closely matched, even across temperature. The sum of both currents flows through a low-drift reference resistor,  $R_{REF}$ . The voltage,  $V_{REF}$ , generated across the reference resistor is shown in [Equation 4](#). Because  $IDAC1 = IDAC2$ , [Equation 5](#) is then used as the ADC reference voltage.

$$V_{REF} = (I_{DAC1} + I_{DAC2}) \times R_{REF} \quad (4)$$

$$V_{REF} = 2 \times I_{DAC1} \times R_{REF}$$

- $I_{DAC1}$  and  $I_{DAC2}$  based on default firmware: 250 µA,  $R_{REF} = 3.24$  kΩ
- $V_{REF} = 1.62$  V

$$(5)$$

[Equation 6](#) assumes for the moment that the individual lead resistance values of the RTD ( $R_{LEADx}$ ) are zero. Only IDAC1 excites the RTD to produce a voltage  $V_{RTD}$ , which is proportional to the temperature dependable RTD value and the IDAC1 value.

$$V_{RTD} = R_{RTD}(\text{Temperature}) \times I_{IDAC1} \quad (6)$$

The ADS1220 device internally amplifies the voltage across the RTD using the PGA and compares the resulting voltage against the reference voltage to produce a digital output code, which is proportional to [Equation 7](#) and [Equation 9](#).

$$\text{Code} \propto V_{\text{RTD}} \times \text{PGA} / V_{\text{REF}} \quad (7)$$

$$\text{Code} \propto (R_{\text{RTD}} [\text{Temperature}] \times I_{\text{IDAC1}} \times \text{PGA}) / (2 \times \text{IDAC1} \times R_{\text{REF}}) \quad (8)$$

$$\text{Code} \propto (R_{\text{RTD}} [\text{Temperature}] \times \text{PGA}) / (2 \times R_{\text{REF}}) \quad (9)$$

As shown in [Equation 9](#), the output code depends only on the value of the RTD, the PGA gain and the reference resistor ( $R_{\text{REF}}$ ), but not on the IDAC1 value. The absolute accuracy and temperature drift of the excitation current therefore does not matter. However, because the value of the reference resistor directly impacts the measurement result, choosing a reference resistor with a very low temperature coefficient is important to limit errors introduced by the temperature drift of  $R_{\text{REF}}$ .

The second IDAC2 is used to compensate for errors introduced by the voltage drop across the lead resistance of the RTD. All three leads of a 3-wire RTD typically have the same length and, thus, the same lead resistance. Also, IDAC1 and IDAC2 have the same value. Consequently, the differential voltage ( $V_{\text{IN}}$ ) across the ADC inputs, AIN0 and AIN1, is as shown in [Equation 10](#).

$$V_{\text{IN}} = V_{\text{AIN0}} - V_{\text{AIN1}} = I_{\text{IDAC1}} \times (R_{\text{RTD}} + R_{\text{LEAD1}}) - I_{\text{IDAC2}} \times R_{\text{LEAD2}} \quad (10)$$

When  $R_{\text{LEAD1}} = R_{\text{LEAD2}}$  and  $I_{\text{IDAC1}} = I_{\text{IDAC2}}$ , [Equation 10](#) reduces to [Equation 11](#).

$$V_{\text{IN}} = I_{\text{IDAC1}} \times R_{\text{RTD}} \quad (11)$$

In other words, the measurement error resulting from the voltage drop across the RTD lead resistance is compensated for, as long as the lead resistance values and the IDAC values are well matched.

Implementing a 2-wire or 4-wire RTD measurement is very similar to the 3-wire RTD measurement shown in [Section 4.3](#) except that only one IDAC is required. See [Figure 34](#) for the ADC Code to RTD Conversion as implemented in MSP430 Firmware.

#### 4.4 ADC Input and Reference Low Pass Filter

Using differential and common-mode low-pass filters at the input and reference paths improves the cancellation of excitation and environment noise.

---

**NOTE:** The corner frequency of the two differential filters must be well matched.

---

**For example:** For the selected ADS1220 sampling rate of 20 SPS results in a  $-3$  dB bandwidth of 14.8 Hz. Therefore, the filter  $-3$  dB corner frequency must be set at a decade greater than the bandwidth of the ADS1220.

$$C_{\text{I\_DIFF}} = \frac{1}{2 \times \pi \times F_{-3\text{dB}} \times (R_{\text{I1}} + R_{\text{I2}} + R_{\text{RTD}})} \quad (12)$$

$$C_{\text{R\_DIFF}} = \frac{1}{2 \times \pi \times F_{-3\text{dB}} \times (R_{\text{REF}} + R_{\text{R1}} + R_{\text{R2}})} \quad (13)$$

To ensure that mismatch of the common-mode filtering capacitors is not translated to a differential voltage, the common-mode capacitors ( $C_{\text{L\_CM1}}$  and  $C_{\text{L\_CM2}}$ ) were chosen to be ten-times smaller than the differential capacitor.

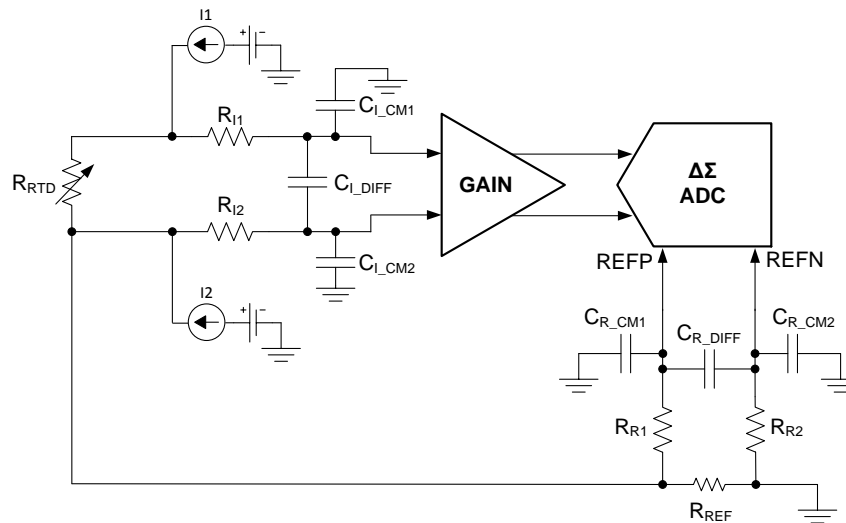


Figure 10. Input and Reference Low-Pass Filtering

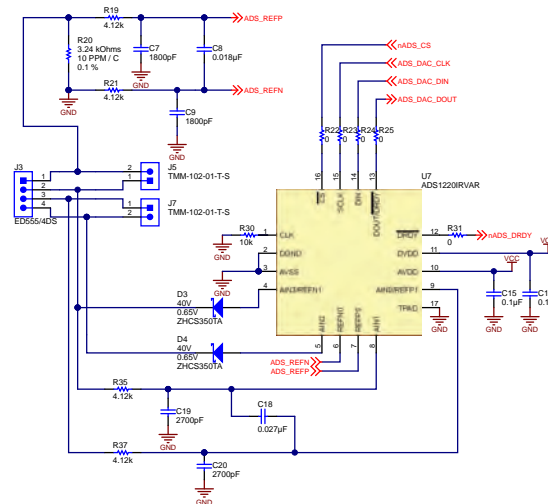


Figure 11. Low Pass Filtering on ADS1220 inputs as implemented in this Design

The cut off frequency chosen for this design is higher to account for faster sampling rate.

#### 4.5 DAC Theory of Operation

The DAC converts the 16-bit input code in the DACCODE registers to an equivalent current output. The  $\Sigma\Delta$  DAC output is a current pulse which is then filtered by a third-order RC lowpass filter and boosted to produce the loop current ( $I_{LOP}$ ) at the device OUT pin.

Figure 12 shows the principle of operation of the DAC161S997 in the loop-powered transmitter.



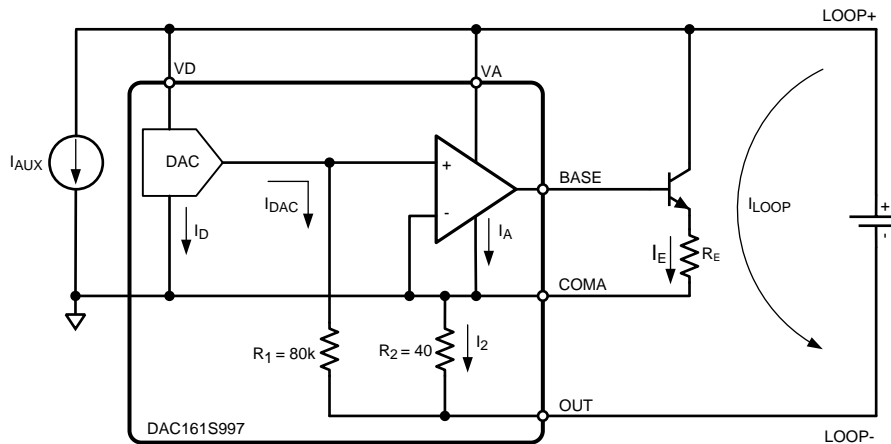


Figure 12. Loop-Powered Transmitter

In Figure 12,  $I_D$  and  $I_A$  represent supply (quiescent) currents of the internal digital and analog blocks.  $I_{AUX}$  represents supply (quiescent) current of companion devices present in the system, such as the voltage regulator and the digital interface. Because both the control loop formed by the amplifier and the bipolar transistor force the voltage across  $R_1$  and  $R_2$  to be equal, under normal conditions, the  $I_{LOOP}$  is dependent only on  $I_{DAC}$  through the following relationship (see Equation 14 and Figure 13).

$$I_{Loop} = (1 + R_1 / R_2) I_{DAC}$$

where

- $I_{DAC} = f(\text{DACCODE})$  (14)

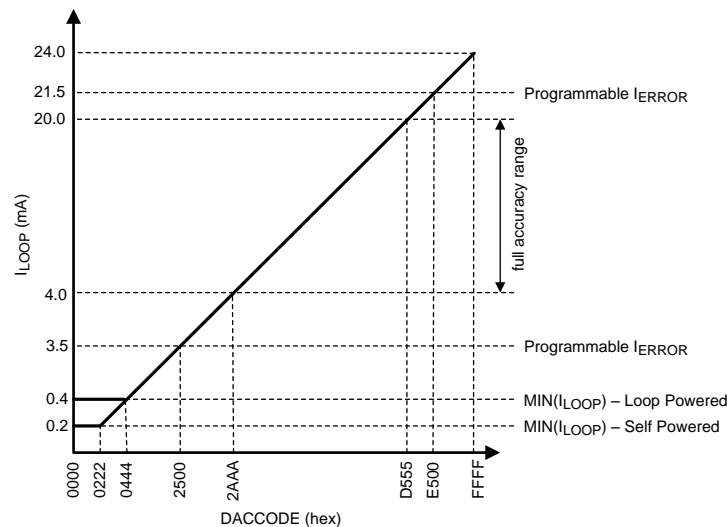


Figure 13. DAC-DC Transfer Function

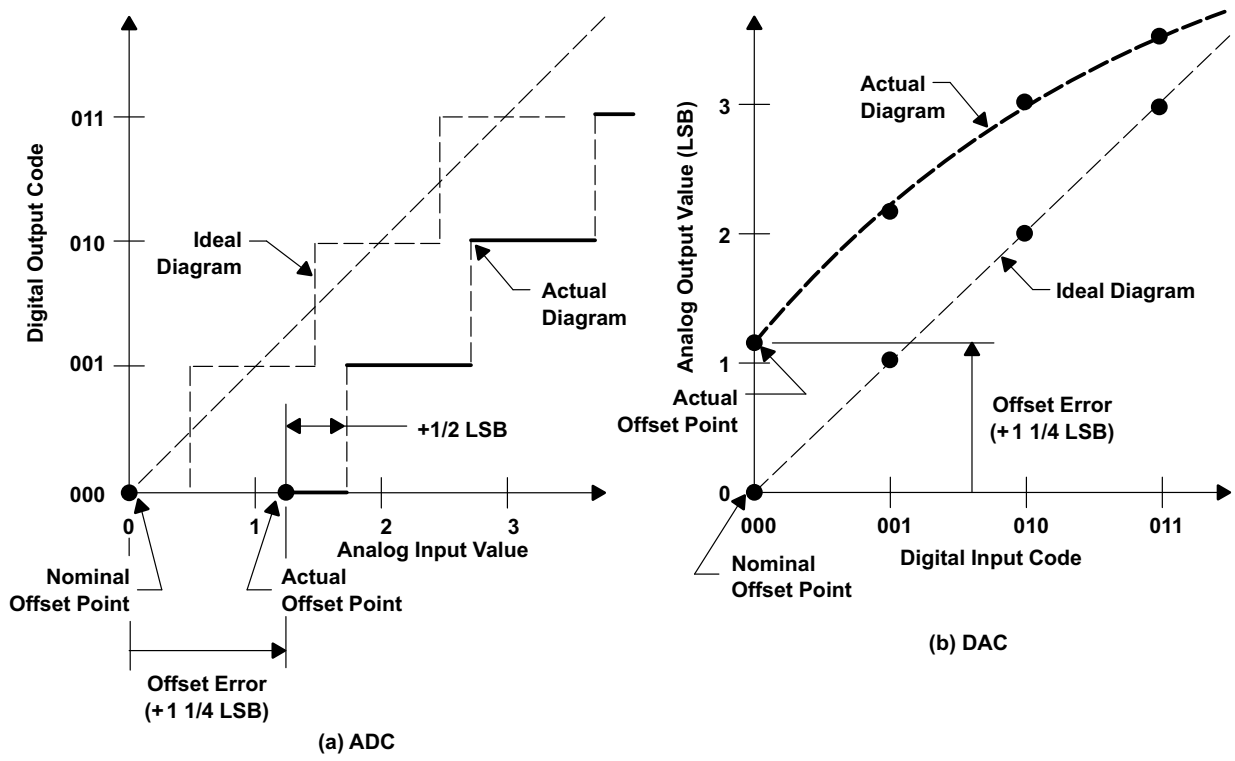
The DAC161S997 cannot directly interface to the typical 4 to 20-mA loop because of the high supply voltage. The loop interface has to provide the means of stepping down the LOOP Supply to approximately 3.3 V. The second component of the loop interface is the external NPN transistor (BJT). This device is part of the control circuit that regulates the transmitter's output current ( $I_{LOOP}$ ). Since the BJT operates over the wide current range, spanning at least 4 to 20 mA, degenerating the emitter in order to stabilize transconductance ( $g_m$ ) of the transistor is not necessary. The degeneration resistor of 20  $\Omega$  is suggested in typical applications.

In this system, the default firmware supports temperature range from  $-200^\circ\text{C}$  to  $850^\circ\text{C}$ . Thus a theoretical DAC error of 1  $\mu\text{A}$  would lead to  $0.065^\circ\text{C}$  error in the system. See Figure 35 for temperature to current conversion as implemented in the MSP430 Firmware.

### 4.6 Offset Error

The offset error as shown in Figure 14 is defined as the difference between the nominal and actual offset points. For an ADC, the offset point is the midstep value when the digital output is zero, and for a DAC it is the step value when the digital input is zero. This error affects all codes by the same amount and can usually be compensated for by a trimming process. If trimming is not possible, this error is referred to as the zero-scale error.

In this design, offset error correction for ADC is shown in Figure 31. In this algorithm, the ADC input pins inside the ADS1220 device are shorted and a given number of measurements are averaged to determine an offset error correction that is applied to all functional measurements. For DAC offset error correction, see Section 6.5. The offset correction required for the DAC was not as significant as the gain correction as shown in Figure 44. The firmware does not implement a DAC offset correction. However, a simple algorithm can be implemented if offset correction is needed.



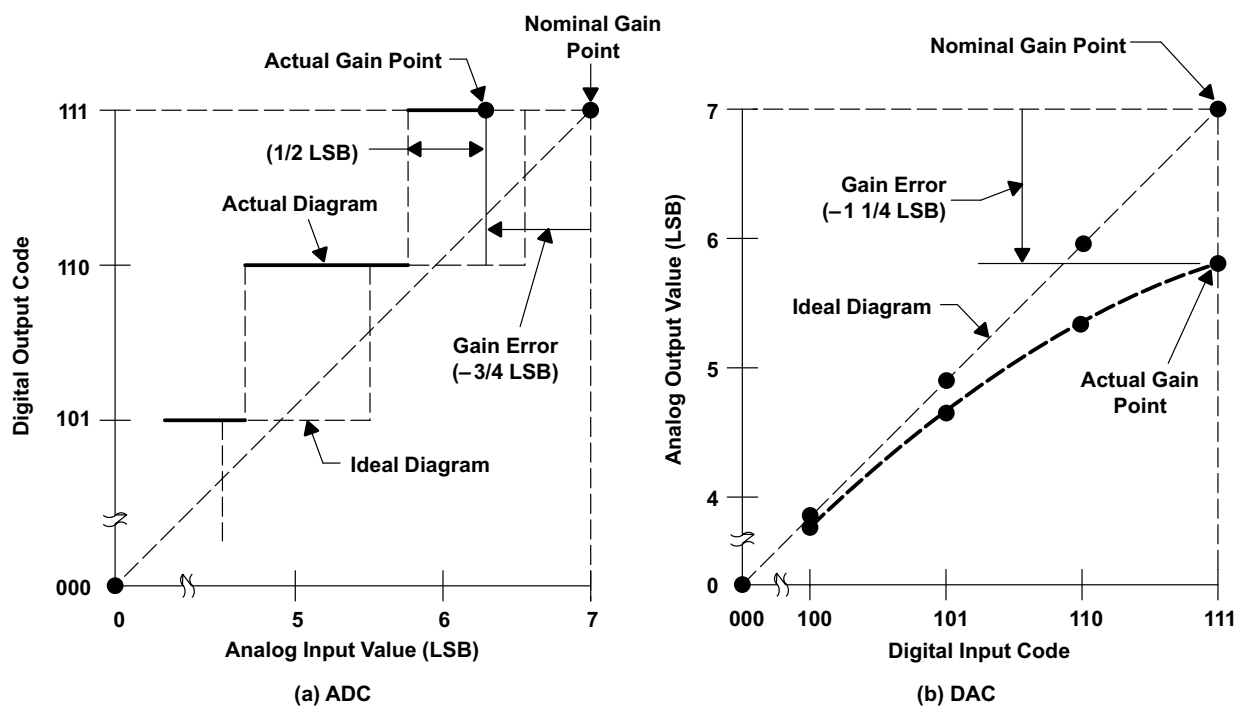
Offset error of a Linear 3-Bit Natural Binary Code Converter (Specified at Step 000)

Figure 14. Offset Error

## 4.7 Gain Error

The gain error shown in Figure 15 is defined as the difference between the nominal and actual gain points on the transfer function after the offset error has been corrected to zero. For an ADC, the gain point is the midstep value when the digital output is full scale, and for a DAC it is the step value when the digital input is full scale. This error represents a difference in the slope of the actual and ideal transfer functions and as such corresponds to the same percentage error in each step. This error can also usually be adjusted to zero by trimming.

In this design, gain error correction for ADC is shown in Section 6.3. For DAC gain correction, see Section 6.5. A simple 2 point calibration was implemented to overcome the gain error as shown in Section 6.5. Note that this is an example code of how to implement gain correction on the DAC. The gain correction factor is stored in Figure 30. Customers can perform the DAC gain calibration measurement on a given system by removing the `#DAC_test` and recompiling the firmware and then use SW 1 (see Figure 55) which outputs 4 to 20 mA in 2-mA steps for each button push. Using these values, a new `DACErrorCorrection` value as shown in Figure 30 can be determined. For a higher precision a gain error correction using multiple points lookup can be implemented.



Gain Error of a Linear 3-Bit Natural Binary Code Converter  
(Specified at Step 111), After Correction of the Offset Error

Figure 15. Gain Error

**NOTE:** In this reference design, the firmware implements the offset and gain calibration for ADC by default. For DAC offset and gain calibration procedures described in Section 6.5 can be used to implement such corrections.

### 4.8 Power Design

The input voltage range for the temperature transmitter system is approximately 8 to 35 V. For this input range, the desired output for the on board system power is approximately 3.3 V. An LDO that has a high power-supply ripple rejection is required for a high precision design. A low junction-to-ambient thermal resistance is also required to ensure that the extra unused energy from the input supply can dissipate within the package of the LDO.

The TPS7A4901 device comes from a series of high-voltage, ultra-low noise LDOs that are ideal for precision applications. A resistor divider at the LDO output sets the output voltage ( $V_{LDO\_OUT}$ ) proportional to the internal reference voltage of the LDO ( $V_{LDO\_REF}$ ). For this device,  $V_{LDO\_REF} = 1.194\text{ V}$ . In order to set  $V_{LDO\_OUT}$  to the desired 3.3 V, the resistor divider components are calculated in Equation 15.

$$V_{LDO\_OUT} = V_{LDO\_REF} \times \left( 1 + \frac{R1}{R2} \right)$$

where

- $R1 = 21\text{ k}\Omega$
- $R2 = 12\text{ k}\Omega$

(15)

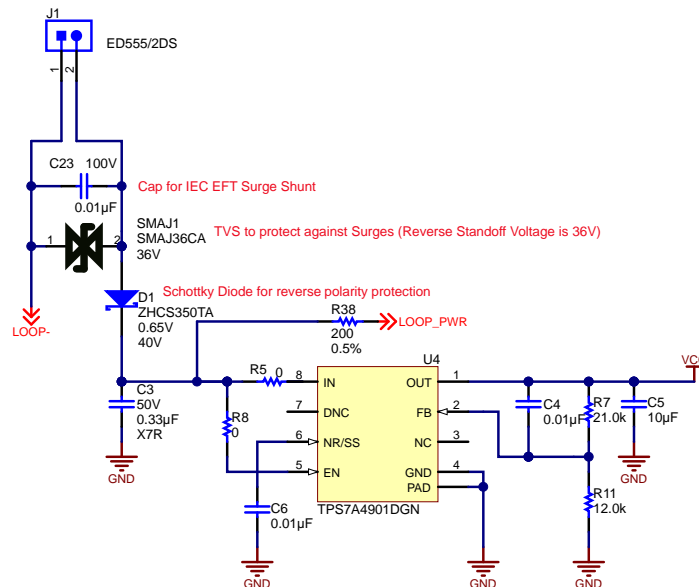


Figure 16. LDO Section

The TPS7A4901 device supports up to 36 V of input voltage and has an ultra-low noise of  $15.4\ \mu\text{V}_{\text{RMS}}$  and 72 dB PSRR.

Equation 16 calculates the maximum power dissipation requirements for the TPS7A4901 device.

$$(V_i - V_o) \times I_o$$

where

- $V_i$  is 35 V,  $V_o$  is 3.3 V,  $I_o$  is approximately 24 mA (max)

(16)

From Equation 16 the power dissipated in the LDO package is approximately 0.76W

The junction-to-ambient thermal resistance,  $\theta_{JA}$ , of the TPS7A4901 device is  $55.09^\circ\text{C/W}$  (see Equation 17).

$$\theta_{JA} \times \text{Power Dissipation} + T_{A\text{max}} < 150^\circ\text{C} (T_{J\text{max}})$$

(17)

The maximum junction temperature before the TPS7A4901 device shuts down is  $150^\circ\text{C}$ . From Equation 17, the worst case temperature of TPS7A4901 device is approximately  $126^\circ\text{C}$  assuming that ambient temperature of  $85^\circ\text{C}$ . Therefore, a sufficient thermal-operating margin is available with the TPS7A4901 device, even accounting for the worst case power dissipation.

### 4.9 Reverse Polarity Protection

To protect the system from accidentally connecting the power to ground and ground to power, reverse polarity protection diodes are placed both in the path of Loop+ and Loop- as shown in Figure 17 and Figure 18.

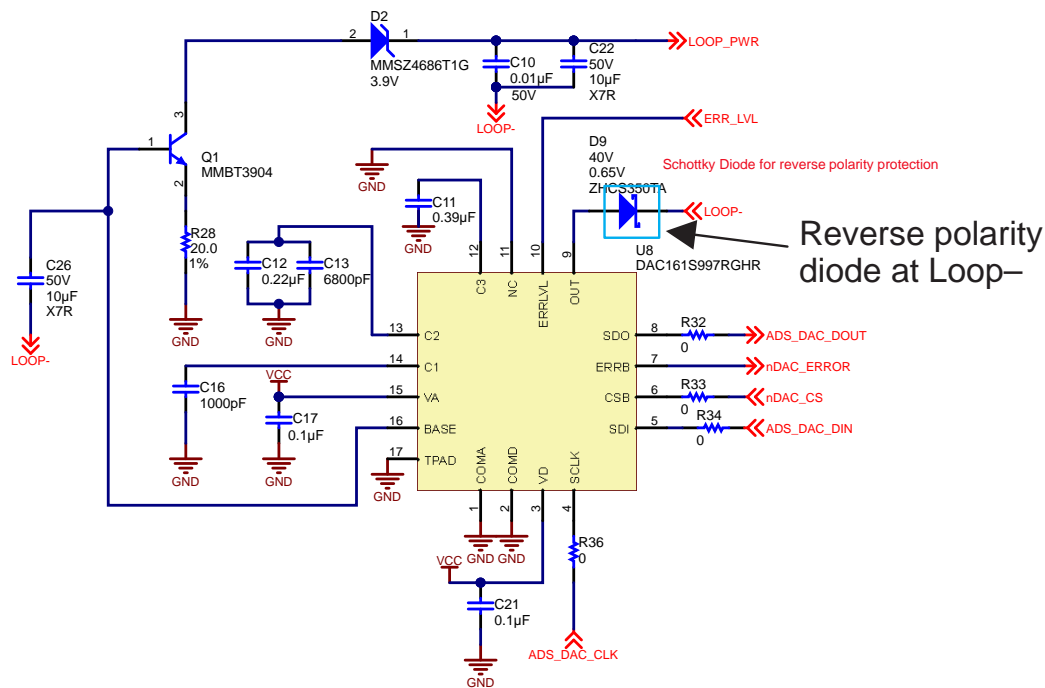


Figure 17. Reverse Polarity Diode at Loop-

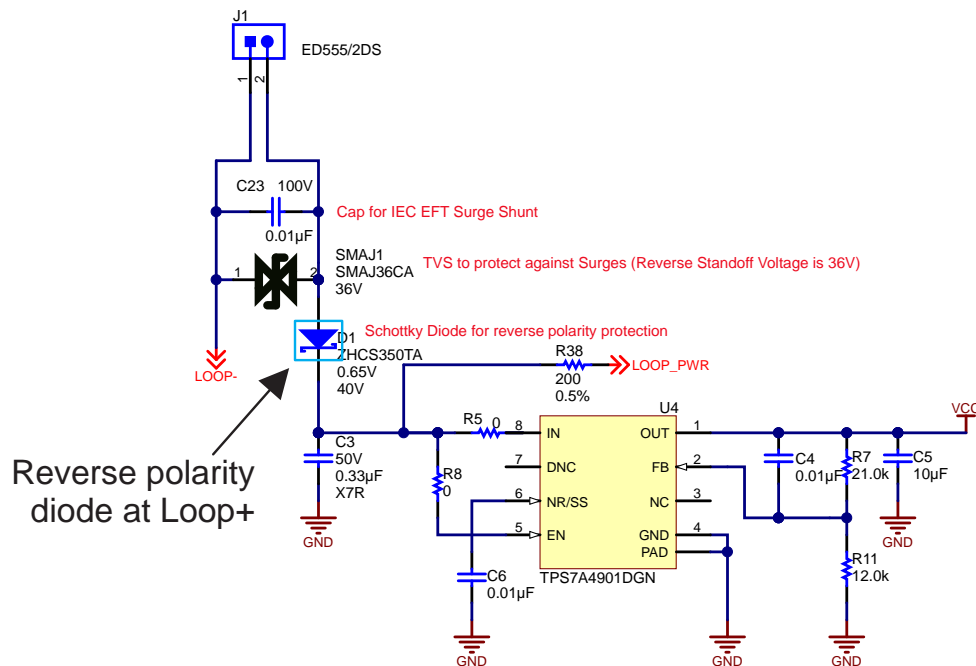


Figure 18. Reverse Polarity Diode at Loop+

### 4.10 Power Supply Sequencing

To ensure that the LDO can provide 3.3 V to the DAC before the loop power is applied to the DAC output, the size of the capacitors is chosen such that:

$$C3 \ll C22, C26 \tag{18}$$

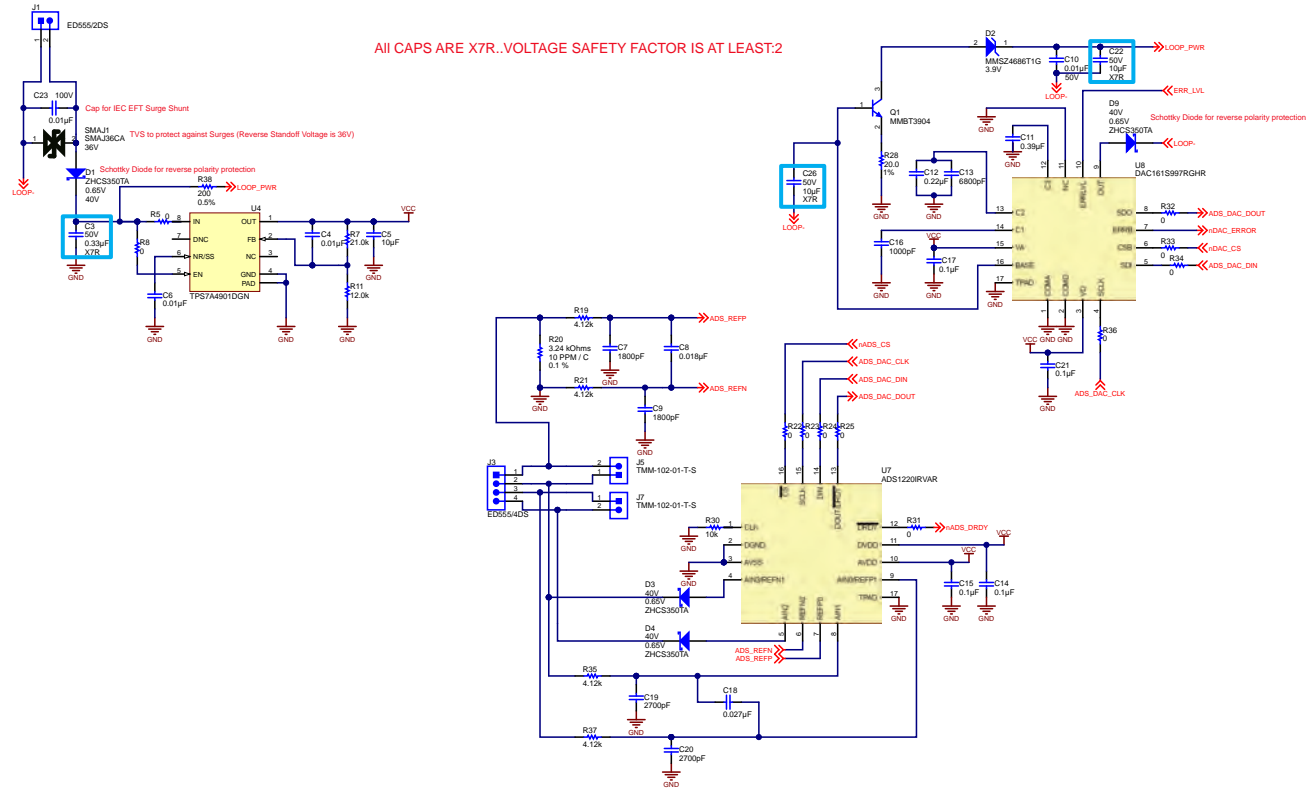


Figure 19. Power Supply Sequencing

### 4.11 IEC61000-4-2 and IEC61000-4-4 Protection

For IEC61000-4-2 and IEC61000-4-4 protection a TVS diode as well as a capacitor is placed as close as possible to the input power connector J1. See Figure 20 for the schematic and corresponding layout. Ensure that both the TVS and the capacitor are placed as close as possible to the input power connector (J1) as shown in Figure 20. The TVS diode is mounted on the top side near the J1 connector. The shunt capacitor is placed on the bottom side as close to the J1 connector as possible.

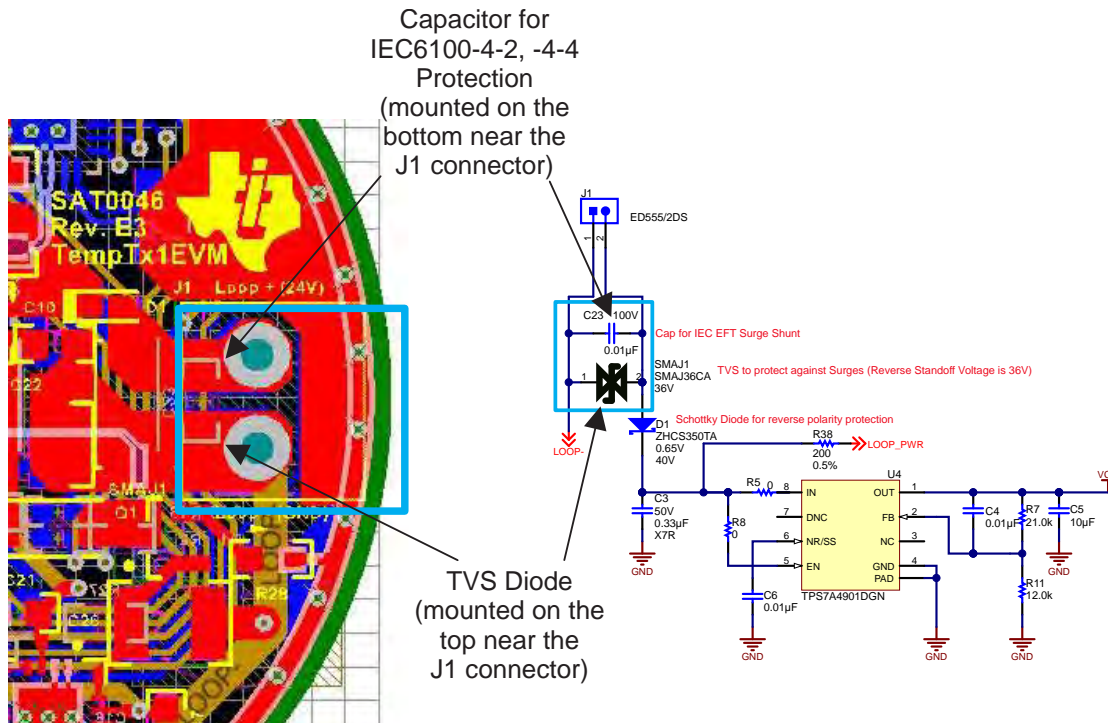


Figure 20. TVS and a Shunt Capacitor for IEC61000-4-2 and IEC61000-4-4 Protection

### 4.12 MSP430

The MSP430 device interfaces with ADC and DAC through SPI interface. SPI interface is shared between the ADC and DAC. The MSP430 device interfaces to a PC COM port through the UART port. A [USB to UART dongle](#) is required.

The MSP430 device records the raw ADC code from the ADS1220 device that corresponds to the temperature reading, applies offset and gain calibration, converts the ADC code to a resistance value, performs linear interpolation to overcome the non-linearity of the RTD, converts the given temperature from the lookup table to the DAC current and after correcting for DAC gain and offset correction, and applies that equivalent code corresponding to loop current to the DAC161S997 device through SPI. See [Section 5.4](#) for details.

---

**NOTE:** In this reference design, the firmware implements the offset and gain calibration for ADC by default. For DAC offset and gain calibration procedures described in [Section 6.5](#) can be used to implement such corrections.

---



### 4.13 Complete System Theory

- The input-voltage range of 10 to 35 V converts to 3.3 V through an LDO, the TPS7A4901 device.
- The system has protection for IEC61000-4-2 and IEC61000-4-4 for input power (loop power) as well as reverse polarity protection incorporated.
- The ADS1220 device is a 24-bit sigma delta ADC that interfaces with RTD probes and converts resistance measurement to a raw ADC code.
- The MSP430 device records the raw ADC code from ADS1220 that corresponds to the temperature reading, applies offset and gain calibration, converts the ADC code to a resistance value, performs linear interpolation to overcome the non-linearity of the RTD.
- The MSP430 device converts the given temperature from the lookup table to the DAC equivalent current code. The DAC offset and gain calibration can be applied at this step.
- The MSP430 device uses the same SPI interface to interface both to the ADS1220 device and the DAC161S997 device.

---

**NOTE:** The MSP430 device shares the same SPI between the ADS1220 device and the DAC161S997 device. External buffering is not required because both of TI's devices, the ADS1220 device and the DAC161S997 device, go hi-Z when not addressed.

---

---

**NOTE:** The system design requirements listed in [Section 2](#) were met as described in [Section 4](#).

---

## 5 Getting Started

### 5.1 Hardware Overview

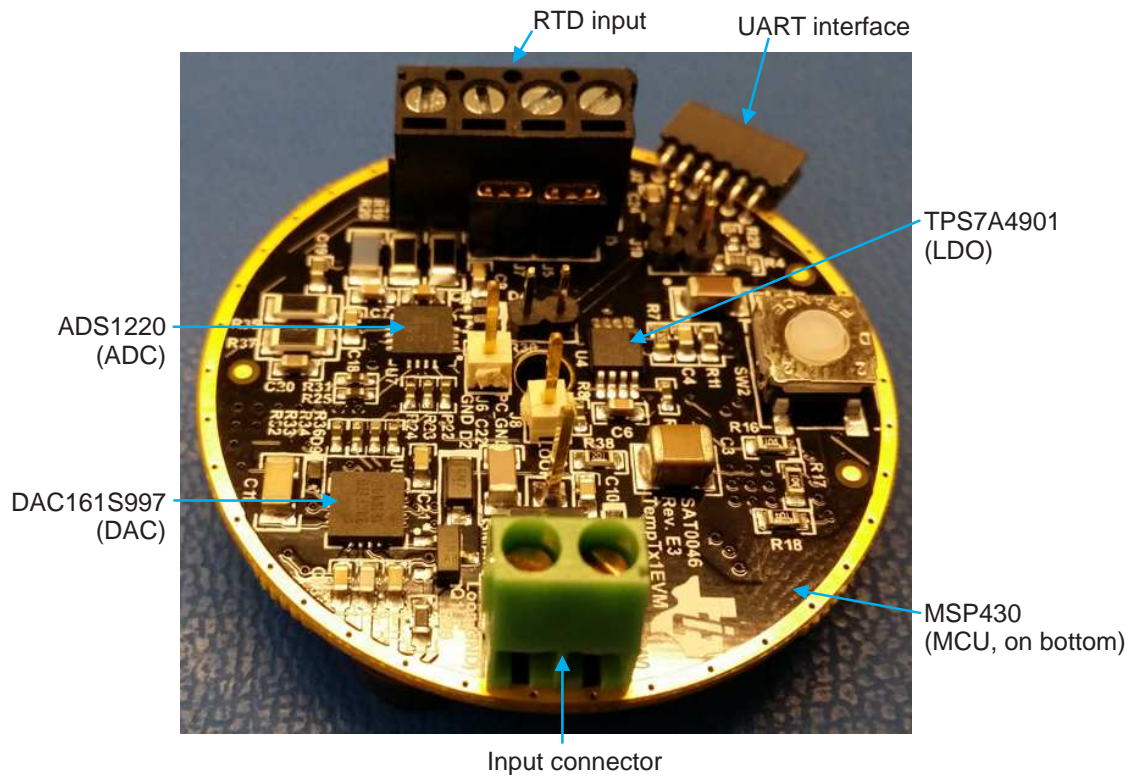


Figure 21. System Hardware Description

### 5.2 Getting Started Steps

1. A power supply with 20 to 24-V (typical) range can power the system as shown in [Figure 22](#).
2. The current-limit of the power supply is set to 40 mA as recommended. 24 mA is the theoretical maximum that the system should draw from the power supply.
3. Connect a precision multimeter in series with the power supply as shown in [Figure 22](#). A 6.5-digit precision multimeter is recommended as shown in [Figure 22](#).



Figure 22. Power Supply and Multimeter Connected in Series

**NOTE:** For basic functionality testing, a 6.5-digit multimeter is sufficient. For DAC characterization, a 8.5-digit multimeter is recommended

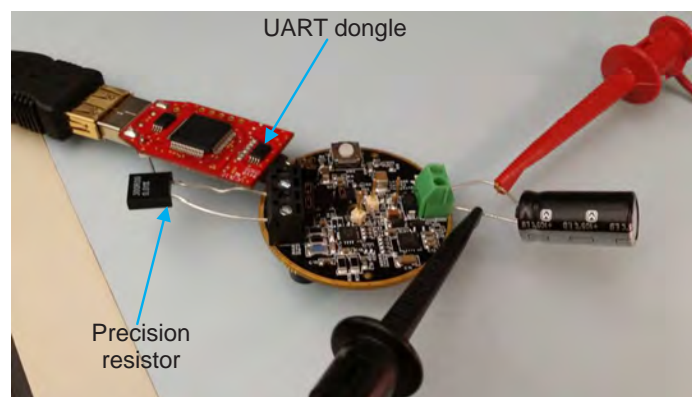
- If there is no firmware loaded into the MSP430 flash the default current consumed by the system is approximately 3.37 mA. This consumed current does not reflect the power consumed by the system. The consumed current reflects the error low condition as indicated by the DAC161S997 as shown in [Figure 23](#).

PARAMETER	CONDITION	MIN	TYP	MAX	UNIT
IERRL LOW ERROR current	ERR_LOW = default	3.36	3.375	3.39	mA
IERRH HIGH ERROR current	ERR_HIGH = default	21.7	21.75	21.82	mA



**Figure 23. Default Current Drawn by the System When the Firmware is Not Programmed**

- [Figure 24](#) shows the basic setup to program the system. Note that a [USB to UART dongle](#) is needed to program the system. A capacitor is connected to the input power-supply terminals primarily for ease of power supply lead connectivity. If the capacitors are polarized then reverse polarity can damage these capacitors. A precision resistor (0.01%) connected to the RTD inputs emulate a 2-wire RTD connection (jumpers J5 and J7 are installed). For programming setup Jumpers J4, J10, and J11 are installed. These jumpers ensure that the connectivity from the MSP430 programming pins is available and that the PC GND is shorted to the system ground (see [Figure 55](#)).



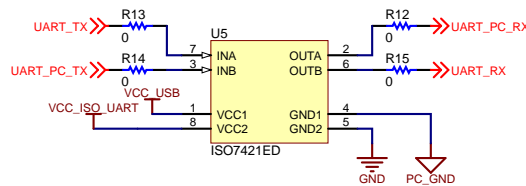
**Figure 24. System Hardware Setup for MSP430 Firmware programming**

- Figure 27 shows the basic setup in functional mode. Note that the jumpers J4, J10, and J11 are not required. UART pins between the PC and the MSP430 device are isolated through ISO7421 see Figure 25, which ensures that the PC GND does not interfere with the system or the loop ground. In this setup, the connection is a 3-wire RTD and therefore J7 is installed and J5 is not installed as listed in Figure 27

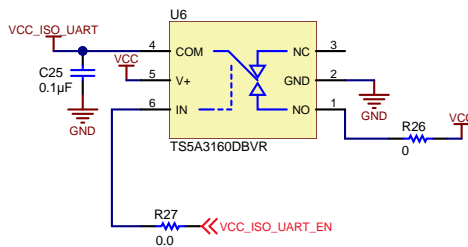
---

**NOTE:** The load switch in this design can turn off the isolation section as needed by the end application (see Figure 26).

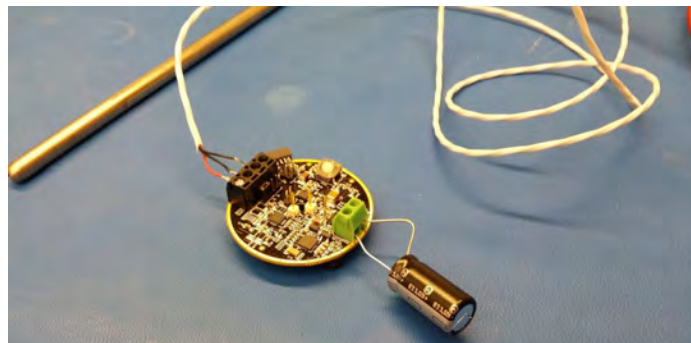
---



**Figure 25. Digital Isolation for UART**



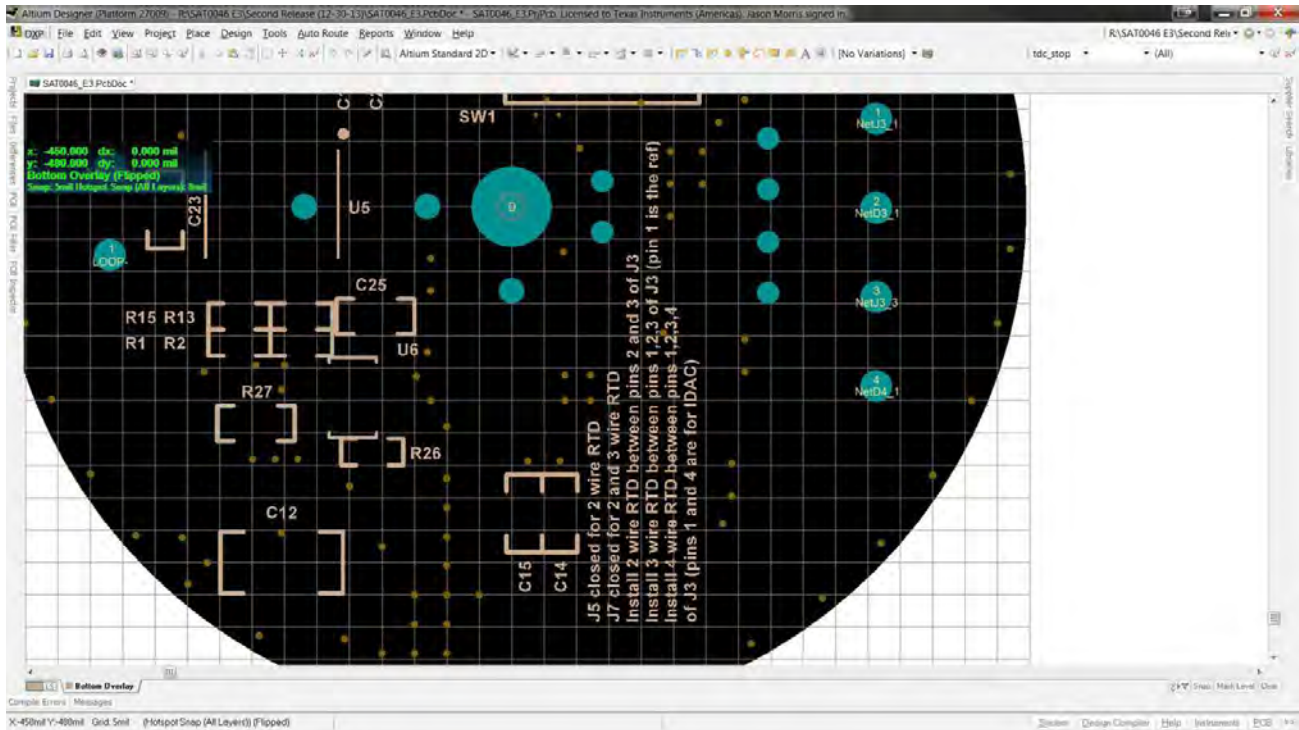
**Figure 26. Load Switch to Turn Off and On Isolation**



**Figure 27. Basic Setup**

### 5.3 Support for 2-Wire, 3-Wire, and 4-Wire RTD

The system supports both 2-wire, 3-wire, and 4-wire RTD. [Table 2](#) lists the jumper configurations as shown in [Figure 28](#).



**Figure 28. 2-Wire, 3-Wire, and 4-Wire RTD Support Shown on the Bottom Silkscreen**

**Table 2. 2-Wire, 3-Wire, and 4-Wire RTD Support**

SETUP	CONNECTORS		RTD LOCATION
	INSTALLED	NOT INSTALLED	
2 wire	J5 and J7		2-wire RTD is installed between pins 2 and 3 of J3
3 wire	J7	J5	3-wire RTD is installed between pins 1, 2, and 3 of J3
4 wire		J5 and J7	4-wire RTD is installed between pins 1, 2, 3, and 4 of J3



## 5.4 Firmware

For MSP430 Firmware updates, [code composer](#) is recommended. Also a USB-to-UART dongle is required as shown in [Figure 24](#). For programming setup, jumpers J4, J10, and J11 are installed. These jumpers ensure that the connectivity from the MSP430 programming pins is available as well as the PC GND is shorted to the system ground (see [Figure 55](#)).

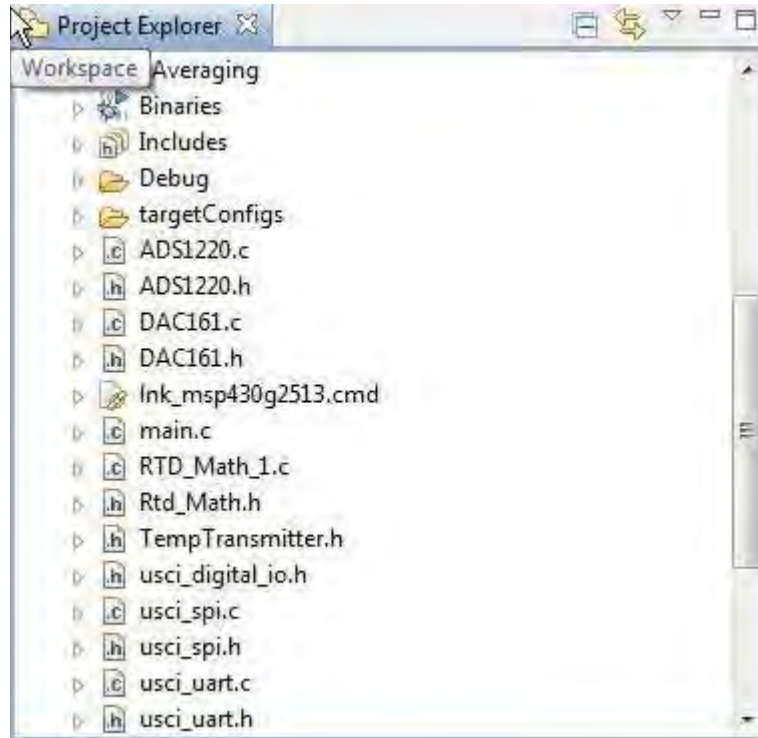


Figure 29. Firmware Project Files

```

47 float Rref = 3240.0;
48
49 // Setting the DacErrorCorrection to 1.0 and turning on the DAC_TEST will allow the user to measure the
50 // output of the DAC161 at 2mA intervals to determine the DacErrorCorrection for there specific device.
51 // #define DAC_TEST 1
52 float DacErrorCorrection = 0.99945;
53
54 // If the following #define is enabled, the system will perform Gain Calibration when the user pushes
55 // the button on the top of the device. The user MUST have modified the code to place the expected
56 // results into the MeasuredGainCodeValue. The user is expected to place a known resistor value in
57 // place of the RTD and push the top button to determine the system level gain correction.
58 // This correction value will be stored into flash memory for future use.
59 //
60 // To prevent the user from accidentally modifying the Gain Correction setting, this #define is left
61 // commented out for normal operations
62 // #define GAIN_CAL
63
64 // To calculate expected result, take the expected answer from the precision multimeter reading and
65 // Code = RTDmeas * PgaGainLevel * (2^23 - 1) / (Rref * 2)
66 float MeasuredGainCodeValue = 7868944.1883;
67
68

```

Figure 30. Key Variables

The key variables, such as  $R_{REF}$ , the reference resistor for the ADC, the DAC gain-calibration factor, or the ADC gain factor are brought out as variables (see [Section 4.7](#), [Section 6.3](#), and [Section 6.5](#)).

```

157
158
159 * ADS1220_Offset_Calibrate_Data
160
161 /*!
162 * @brief Performs a calibration step from data collected by the ADS1220.
163 *
164 * In order to perform a calibration, the ADS1220 AIN lines are shorted together (using the Setup_ADS1220() function). A number of conversion are
165 * then performed and the conversion data is sent to this function.
166 *
167 * This function will take the conversion data and average the results which will be used in the ADS1220_Get_Conversion_Data_Calibrated() function
168 * to return a calibrated conversion result.
169 *
170 * @param[in] *tempData Pointer to raw conversion data that will be included in calibration calculations.
171 *
172 * @return None
173 *
174 * @sa Setup_ADS1220()
175 * @sa ADS1220_Get_Conversion_Data_Calibrated()
176
177 void ADS1220_Offset_Calibrate_Data (unsigned char *tempData)
178 {
179     long temp;
180
181     temp = tempData[0];
182     temp <<= 8;
183     temp |= tempData[1];
184     temp <<= 8;
185     temp |= tempData[2];
186
187     // Was temp negative?
188     if (tempData[0] & 0x80)
189         temp |= ((long)0xff << 24); // Sign extend
190
191     OffsetCalibrateData += temp;
192     OffsetCalibrateCount++;
193     OffsetCalibrateValue = OffsetCalibrateData / OffsetCalibrateCount;
194 }
195
196

```

Figure 31. ADC-Offset Calibration Routine

Section 4.6 shows the ADC-offset calibration as implemented in this firmware.

```

39
40 // This particular table has measurements at every degree C from -200 to 851 inclusive (1052 points).
41 // It is used to perform a linear interpolation between two points that surround the measurement. In this case, those points are 1 degree apart.
42 //
43 // Other tables can be used with more or less points, at the impact of changing the accuracy of the measurement. There is no requirement for the measurements to be evenly
44 // spaced. The table can have fewer points at areas that are nearly linear, and more points at areas that are less linear with no change required to the algorithm.
45 //
46 //
47 const float Points[] =
48 {
49     18.520, 18.952, 19.384, 19.815, 20.247, 20.677, 21.108, 21.538, 21.967, 22.397,
50     22.825, 23.254, 23.682, 24.110, 24.538, 24.965, 25.392, 25.819, 26.245, 26.671,
51     27.096, 27.522, 27.947, 28.371, 28.796, 29.220, 29.643, 30.067, 30.490, 30.913,
52     31.335, 31.757, 32.179, 32.601, 33.022, 33.443, 33.864, 34.284, 34.704, 35.124,
53     35.543, 35.963, 36.382, 36.800, 37.219, 37.637, 38.055, 38.472, 38.889, 39.306,
54     39.723, 40.140, 40.556, 40.972, 41.388, 41.803, 42.218, 42.633, 43.048, 43.462,
55     43.876, 44.290, 44.704, 45.117, 45.531, 45.944, 46.356, 46.769, 47.181, 47.593,
56     48.005, 48.416, 48.828, 49.239, 49.649, 50.060, 50.470, 50.881, 51.291, 51.700,
57     52.110, 52.519, 52.928, 53.337, 53.746, 54.154, 54.562, 54.970, 55.378, 55.786,
58     56.193, 56.600, 57.007, 57.414, 57.821, 58.227, 58.633, 59.039, 59.445, 59.850,
59     60.256, 60.661, 61.066, 61.471, 61.876, 62.280, 62.684, 63.088, 63.492, 63.896,
60     64.300, 64.703, 65.106, 65.509, 65.912, 66.315, 66.717, 67.120, 67.522, 67.924,
61     68.325, 68.727, 69.129, 69.530, 69.931, 70.332, 70.733, 71.134, 71.534, 71.934,
62     72.335, 72.735, 73.134, 73.534, 73.934, 74.333, 74.732, 75.131, 75.530, 75.929,
63     76.328, 76.726, 77.125, 77.523, 77.921, 78.319, 78.717, 79.114, 79.512, 79.909,
64     80.306, 80.703, 81.100, 81.497, 81.894, 82.290, 82.687, 83.083, 83.479, 83.875,
65     84.271, 84.666, 85.062, 85.457, 85.853, 86.248, 86.643, 87.038, 87.432, 87.827,
66     88.222, 88.616, 89.010, 89.404, 89.798, 90.192, 90.586, 90.980, 91.373, 91.767,
67     92.160, 92.553, 92.946, 93.339, 93.732, 94.124, 94.517, 94.909, 95.302, 95.694,
68     96.086, 96.478, 96.870, 97.261, 97.653, 98.044, 98.436, 98.827, 99.218, 99.609,
69     100.000, 100.391, 100.781, 101.172, 101.562, 101.953, 102.343, 102.733, 103.123, 103.513,
70     103.903, 104.292, 104.682, 105.071, 105.460, 105.849, 106.238, 106.627, 107.016, 107.405,
71     107.794, 108.182, 108.570, 108.959, 109.347, 109.735, 110.123, 110.510, 110.898, 111.286,
72     111.673, 112.060, 112.447, 112.835, 113.221, 113.608, 113.995, 114.382, 114.768, 115.155,
73     115.541, 115.927, 116.313, 116.699, 117.085, 117.470, 117.856, 118.241, 118.627, 119.012,
74     119.397, 119.782, 120.167, 120.552, 120.936, 121.321, 121.705, 122.090, 122.474, 122.858,
75     123.242, 123.626, 124.009, 124.393, 124.777, 125.160, 125.543, 125.926, 126.309, 126.692,
76     127.075, 127.458, 127.840, 128.223, 128.605, 128.987, 129.370, 129.752, 130.133, 130.515,
77     130.897, 131.278, 131.660, 132.041, 132.422, 132.803, 133.184, 133.565, 133.946, 134.326,
78     134.707, 135.087, 135.468, 135.848, 136.228, 136.608, 136.987, 137.367, 137.747, 138.126,
79     138.506, 138.885, 139.264, 139.643, 140.022, 140.400, 140.779, 141.158, 141.536, 141.914,
80     142.293, 142.671, 143.049, 143.426, 143.804, 144.182, 144.559, 144.937, 145.314, 145.691,
81     146.068, 146.445, 146.822, 147.198, 147.575, 147.951, 148.328, 148.704, 149.080, 149.456,
82     149.832, 150.208, 150.583, 150.959, 151.334, 151.710, 152.085, 152.460, 152.835, 153.210,
83     153.584, 153.959, 154.333, 154.708, 155.082, 155.456, 155.830, 156.204, 156.578, 156.952,
84     157.325, 157.699, 158.072, 158.445, 158.818, 159.191, 159.564, 159.937, 160.309, 160.682,
85     161.054, 161.427, 161.799, 162.171, 162.543, 162.915, 163.286, 163.658, 164.030, 164.401,
86     164.772, 165.143, 165.514, 165.885, 166.256, 166.627, 166.997, 167.368, 167.738, 168.108,
87     168.478, 168.848, 169.218, 169.588, 169.958, 170.328, 170.698, 171.068, 171.438, 171.808,
88     172.178, 172.548, 172.918, 173.288, 173.658, 174.028, 174.398, 174.768, 175.138, 175.508,
89     175.878, 176.248, 176.618, 176.988, 177.358, 177.728, 178.098, 178.468, 178.838, 179.208,
90     179.578, 180.000

```

Figure 32. Lookup Table for Linear Interpolation

This lookup table is stored in the MSP430 Firmware for the linear interpolation to address the non-linearity of the RTD as shown in the Section 4.2.



```

156
157 /*=====
158 * interpolateTemperatureValue
159 *=====
160 */
161 @brief Returns the temperature in millidegrees that corresponds to the RTD code value returned from the ADS1220.
162 *
163 * The function converts the code value returned from the RTD reading using the ADS1220 and returns the temperature value in millidegrees C.
164 *
165 * @param[in] code      24 bit value provided from the ADS1220 from the RTD conversion
166 *
167 * @return temperature  Temperature in millidegrees C.
168 *
169 *=====
170 float interpolateTemperatureValue (long code)
171 {
172     static float interimValue;
173     static float targetValue;
174     static float r_value;
175     unsigned short index;
176
177     r_value = calculateRValue (code);
178     index = findInterpolationIndex(r_value);
179
180     // Interim value will be a fraction less than 1
181     interimValue = (r_value - Points[index]) / (Points[index+1] - Points[index]);
182
183     // The algorithm requires the table to be one value for every degree. Since the table is regular, the
184     // interimValue will be the decimal portion of the temperature measurement. The index show how deep
185     // we are into the table with each step being one degree apart. If we add value in degree C of the
186     // first measurement in the table we can convert into temperature
187     targetValue = interimValue + ((long)index + MIN_TEMP_MEAS); // Convert index out of unsigned variable to allow for negative number
188
189     return (targetValue); // Note this is in Degrees C
190 }
191

```

Figure 33. Algorithm for Linear Interpolation

The algorithm for the linear interpolation addresses the non-linearity of the RTD as shown in [Section 4.2](#).

```

222
223 /*=====
224 * calculateRValue
225 *=====
226 */
227 @brief This function converts the code returned from the conversion of the RTD in the ADS1220 into an R Value.
228 *
229 * The algorithm to perform the conversion goes as follows :
230 * rtd = (code * Rref * 2.0) / (PgaGainLevel * (2^23 - 1));
231 *
232 *
233 * @param[in] code      24 bit value provided from the ADS1220 from the RTD conversion
234 *
235 * @return r_value      The r_value from the RTD return
236 *
237 *=====
238 float calculateRValue (long code)
239 {
240     float rtd; // Must be volatile to force the order of operations below
241
242     rtd = (code * Rref * 2.0) / (PgaGainLevel * 8388607.0);
243
244     return (rtd);
245 }
246
247

```

Figure 34. Convert ADC Code to Resistance

The code in [Figure 34](#) converts the ADC code, after offset and gain calibration, to resistance.

```

137
138 /*****
139 * ConvertTemp2uAmps
140 *****/
141 /*!
142 * @brief Converts a temperature in the range of -200 to +850 degrees C into a 4-20mA value.
143 *
144 * This function is called to convert the temperature (scaled into degrees C * 1000) into an Amp setting to send on the 4-20mA line.
145 * -200 degrees will correspond to 4.000 mA, +850 degrees C will correspond to 20mA.
146 *
147 * @param[in]    temperature in degrees C * 1000; from -200000 to +850000
148 *
149 * @return  uAmp value      Input temperature converted in MicroAmps (mA * 1000).
150 *****/
151 unsigned long ConvertTemp2uAmps (long temperature)
152 {
153     float uAmps;
154
155     // Here is where we need to convert the 3 bytes received from the ADS1220 into a uAmp value that will be placed into the DAC
156     // -200 to +850 C measured in 1000 * C is -200000 to 850000 or a range of 1050000 1000*C.
157     // Add 200000 to the temperature to convert it into a range between 0 and 1050000. Divide by 1050000 to get the percentage of the temperature scale.
158     //
159     // 4 to 20mA output is measured in uAmps and therefore is 4000 to 20000 uAms or a range of 16000 uAmps.
160     // Multiply the results above by 16000 to get the percentage on the uAmp scale that ranges from 0 - 16000.
161     // Adjust the results so that -200 degrees C (which comes out to 0 uAmps) is represented by 4000 uAmps by adding 4000
162     //
163     // uAmps = (((temperature + 200000) * 16000 / 1050000) + 4000) -- Divide top and bottom by 1000 and we get
164     //          ((temperature + 200000) * 16 / 1050) + 4000
165     //
166     uAmps = (((temperature + 200000) * 16.0) / 1050.0) + 4000.0;
167     uAmps = uAmps * DacErrorCorrection;
168     return ((unsigned long)uAmps);
169 }
170

```

**Figure 35. Convert Temperature to DAC current**

The code in [Figure 35](#) converts the temperature to DAC current.

## 6 Test Data

**NOTE:** The test data in the following sections was measured with the system at room temperature unless otherwise noted.

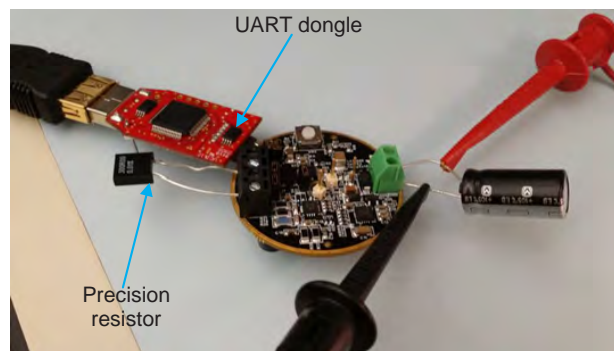
**NOTE:** All of the measurements in this section were measured with calibrated lab equipment.

### 6.1 Overview

As the overall system performance is governed by the ADC accuracy, DAC accuracy, and resolution. [Section 6.2](#) characterizes the ADC for both resolution and error (adjusted for offset and gain calibration). The DAC is then characterized for both resolution and error (adjusted for offset and gain calibration). Finally, a full-system characterization is performed for maximum measured error of the complete system.

### 6.2 ADC Input Referred Noise

Approximately 1000 raw ADC values are captured by the MSP430 device. To capture these values, the MSP430 device communicates to a COM Port through the USB to UART dongle as shown in [Figure 36](#) (see [step 5 in the Getting Started Steps section](#) for more information). A precision resistor of 300  $\Omega$  is connected to the RTD as shown in [Figure 36](#).



**Figure 36. Input Referred Noise Measurement Setup**

[Figure 37](#) shows the plotted raw ADC values without any offset calibration or gain calibration.

The standard deviation is **approximately 43 codes** and the spread of the codes, MAX(code) to MIN(code), is **approximately 239**.

$$\text{LSB weight} = \left[ \frac{V_{\text{REF}} \times 2}{\text{PGA Gain} \times (2^{24} - 1)} \right]$$

here

- $V_{\text{REF}} = 1.62 \text{ V}$
- PGA gain = 16, note that the sample rate is 20 SPS

$$\text{Input Referred Noise (pp)} = [\text{spread of RAW ADC codes} \times \text{LSB}] = 239 \times 12.06 \text{ nV} = 2.8 \mu\text{V}, 0.029^\circ\text{C} \quad (20)$$

$$\frac{\text{ppNoise}}{(\text{PT-100\_Sensitivity} \times \text{IDAC})} = \frac{2.8 \mu\text{Vpp}}{(0.385 \Omega / ^\circ\text{C} \times 250 \mu\text{A})} = 0.029^\circ\text{C} \quad (21)$$

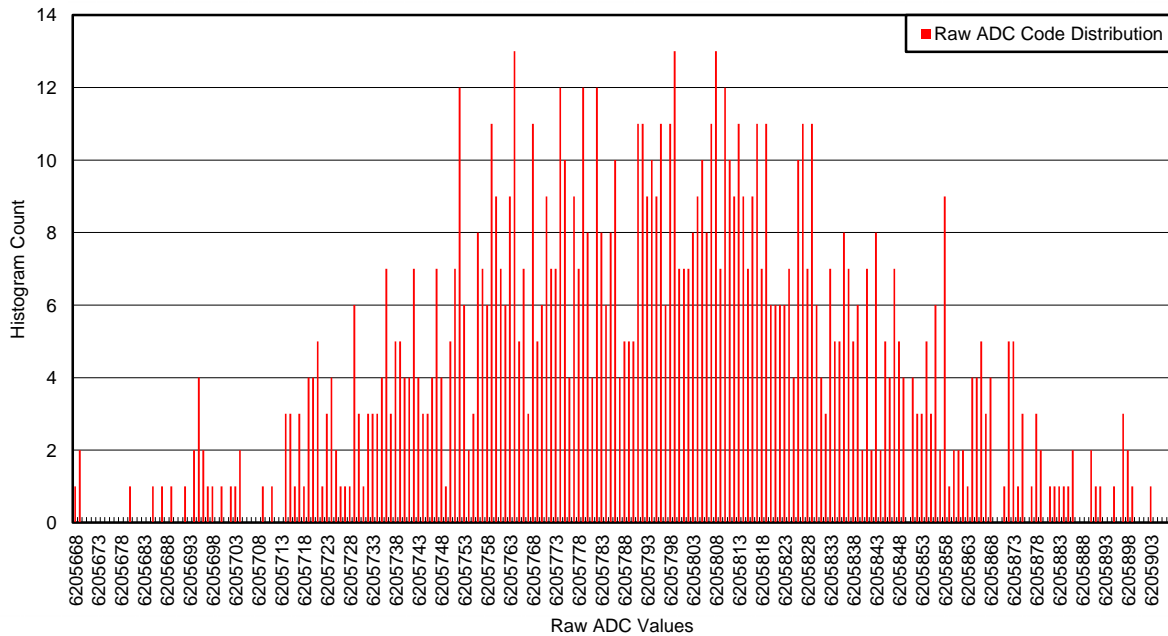


Figure 37. Raw ADC Code Distribution

### 6.3 ADS1220 Error Characterization Including Offset and Gain Calibration

As shown in Figure 38, the following equipment was used in this test setup.

- A power supply provides 24 V (current-limit set to 40 mA).
- A precision 6.5-digit multimeter in series to the power supply measures loop current.
- Another 8.5 digit precision multimeter precisely measures the precision resistors used in this test.
- For this test, precision resistors with a 0.01% tolerance were used to emulate the RTD probes (see Figure 39).

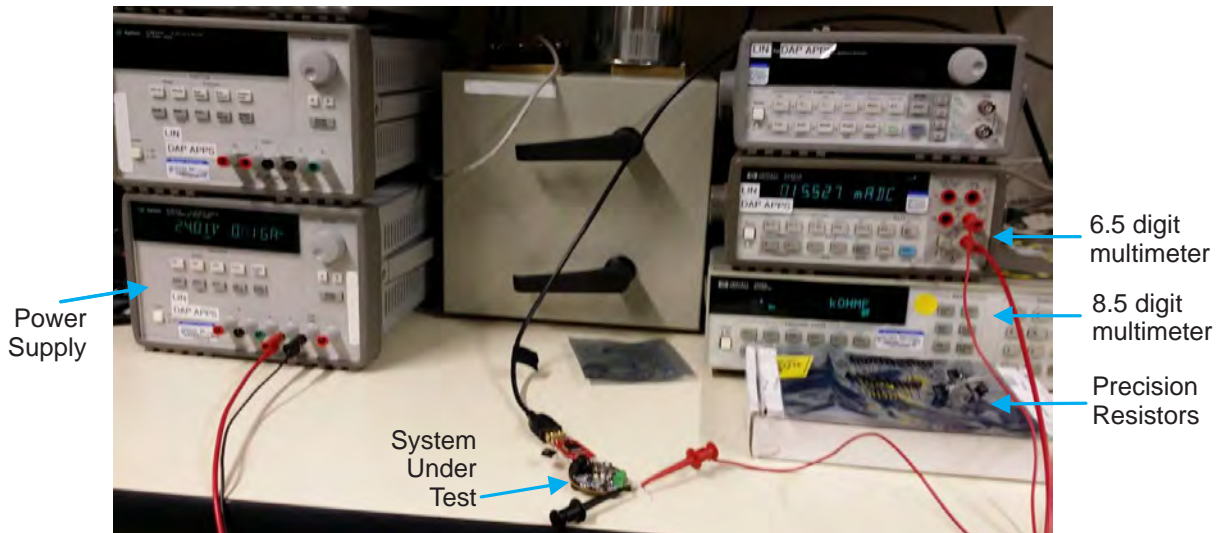


Figure 38. Setup for ADC Characterization



**Figure 39. Precision Resistors 0.01% Tolerance Used for ADC Characterization**

- In the typical data collection for this test, a precision resistor (for example 20  $\Omega$ ) is connected to RTD inputs 1 and 3 of the J3 connector with jumpers J5 and J7 shorted (see [Figure 38](#)).
- The MSP430 device collects the RAW ADC value, applies offset calibration (one time) see [Section 4.6](#), and collects the ADC value including the offset calibration. These values are sent to a communication (COM) port on the PC through the USB to UART dongle.
- Once the data is measured, the precision resistor is immediately measured with the 8.5-digit precision multimeter (see [Figure 40](#)).

---

**NOTE:** To ensure that the resistance measurement is not altered by human contact, tongs were used to remove the precision resistor from the J3 connector and immediately connect to the Kelvin probes of the 8.5-digit multimeter.

---

- Gain calibration occurs (see [Section 4.7](#)) by connecting a 380- $\Omega$  resistor (correspond to approximately 814°C) to the RTD inputs, pin 1 and pin 3. The measured ADC value after offset correction is compared with the ideal expected ADC value based on the 8.5-digit multimeter measurement of the 380- $\Omega$  resistor. Finally, this gain calibration factor is applied to all the resistor measurements across the temperature range (see [Table 4](#)).

---

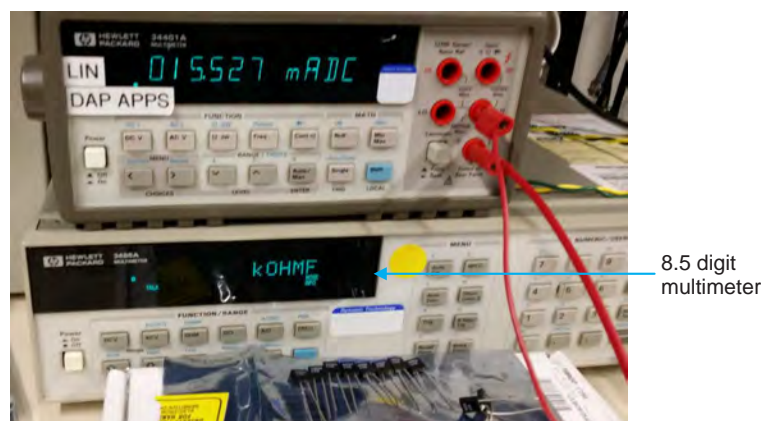
**NOTE: Gain Calibration for ADC** The MSP430 Firmware algorithm averages a given number of measurements with offset correction applied to an expected result with a 380- $\Omega$  resistor connected to determine the gain calibration factor.

To execute the algorithm, SW2 (see [Figure 55](#)) must be pressed with a 380- $\Omega$  resistor in place.

If there is no previously stored gain calibration factor, a new one will be determined and stored in flash.

To overwrite an existing gain calibration factor value, the first 4 bytes of *InfoC* memory in the MSP430 must be set to 0xFF.

---



**Figure 40. Precision Resistors and an 8.5-digit Multimeter**



**Table 3. Precision Resistors Corresponding Temperature Values**

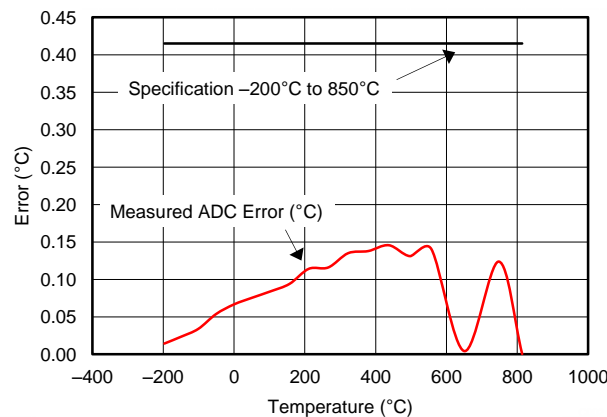
Precision Resistor Value as Measured by 8.5-digit Multimeter ( $\Omega$ )	Reference Temperature Based on Measured Precision Resistor, Calculated With Callendar-Van Dusen Equations (see Section 4.2)
20.0007	-196.570346
40.0014	-149.332074
59.9921	-100.650615
79.9980	-50.776173
100.0024	0.00614
119.9960	51.555661
139.9950	103.92953
159.9918	157.147496
180.0046	211.301704
200.0006	266.349859
219.9999	322.397013
239.9789	379.431081
259.9875	437.656
280.0035	497.077256
300.0007	557.690044
329.9275	650.910269
359.9782	747.831551
379.9108	814.135104

**Table 4. Raw ADC Code, ADC Code After Gain and Offset Calibration**

Raw ADC Code (DEC)	ADC Code After Offset Calibration (DEC)	ADC Code After Offset and Gain Calibration (DEC)
413631	413758	414150
827425	827552	828336
1241010	1241137	1242314
1654817	1654944	1656513
2068676	2068803	2070765
2482330	2482457	2484811
2896130	2896257	2899003
3309865	3309992	3313131
3723824	3723951	3727482
4137619	4137746	4141670
4551351	4551478	4555794
4964771	4964898	4969606
5378777	5378904	5384005
5792921	5793048	5798542
6206693	6206820	6212706
6826873	6827000	6833474
7447941	7448068	7455131
7861347	7861474	7868929

**Table 5. ADC Error After Gain and Offset Calibration**

RTD calculation Based on ADC Code After Gain and Offset Calibration ( $\Omega$ ) (see <a href="#">Figure 34</a> )	Temperature Reading running Linearization After Offset & Gain Calibration ( $^{\circ}\text{C}$ ) (see <a href="#">Figure 32</a> and <a href="#">Figure 33</a> )	Reference Temperature Based on Measured Precision Resistor, Calculated with Callendar-Van Dusen Equations (see <a href="#">Section 4.2</a> )	Measured Error of the ADC
19.99506593	-196.5848571	-196.570346	<b>0.01451</b>
39.99186993	-149.3556911	-149.332074	<b>0.02362</b>
59.97863173	-100.684719	-100.650615	<b>0.03410</b>
79.97606337	-50.82998014	-50.776173	<b>0.05381</b>
99.97605383	-0.06062601	0.00614	<b>0.06677</b>
119.9660987	51.47993397	51.555661	<b>0.07573</b>
139.9631923	103.8452168	103.92953	<b>0.08431</b>
159.9571961	157.0532523	157.147496	<b>0.09424</b>
179.9619663	211.1874151	211.301704	<b>0.11429</b>
199.9588668	266.2337681	266.349859	<b>0.11609</b>
219.9526775	322.2618586	322.397013	<b>0.13515</b>
239.9314248	379.2930855	379.431081	<b>0.13800</b>
259.9385124	437.5102093	437.656	<b>0.14579</b>
279.9522626	496.9460531	497.077256	<b>0.13120</b>
299.9480045	557.5494406	557.690044	<b>0.14060</b>
329.9185395	650.9059074	650.910269	<b>0.00436</b>
359.9319953	747.7075864	747.831551	<b>0.12396</b>
379.9100667	814.1344287	814.135104	<b>0.00068</b>



**Figure 41. Measured ADC Error**

**NOTE:** The measured ADC error is after gain and offset calibration. The measured ADC error includes the error associated with the linear interpolation of the lookup table that is used to overcome the non-linearity of RTD (see [Section 4.2](#)).

### 6.4 Output Resolution

For this test, the DAC output was programmed for 4 mA and multiple values were recorded over time using an 8.5-digit multimeter as shown in Figure 42. The minimum and maximum currents recorded were 3.99754 and 3.99779 mA (respectively) and thus the output resolution was 0.25  $\mu$ A.

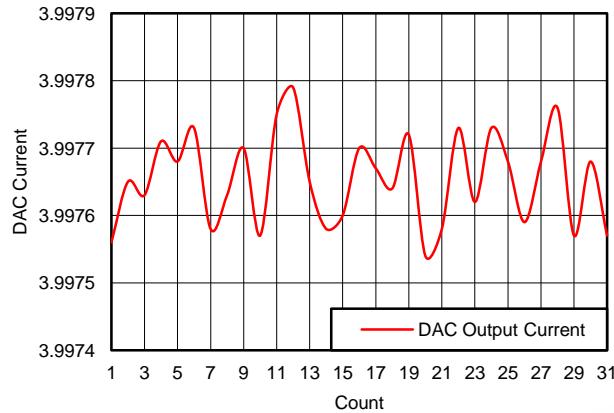


Figure 42. Output Resolution

### 6.5 DAC Characterization

In this setup, an 8.5-digit multimeter was used as shown in Figure 43. The MSP430 was programmed at fixed 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, and 20 mA to the DAC and the corresponding loop current was measured using an 8.5-digit multimeter.

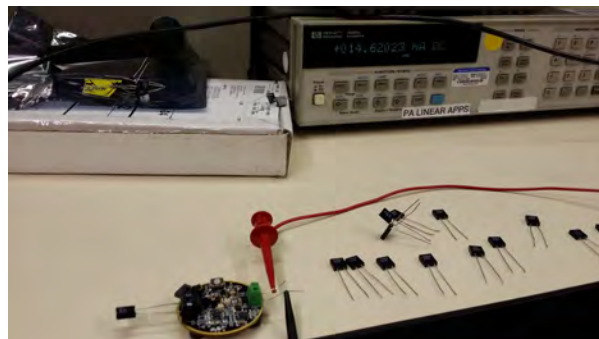
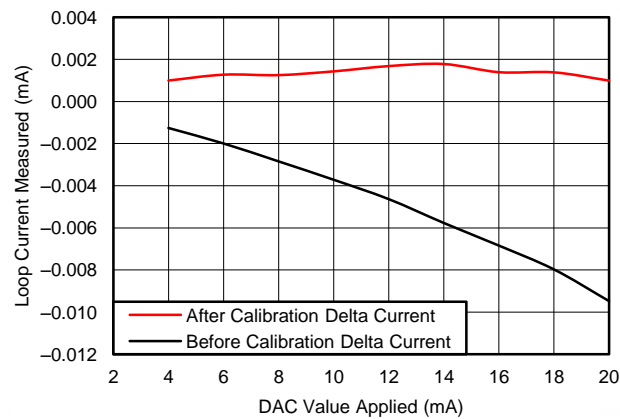


Figure 43. DAC Characterization Setup

Table 6. DAC Current With and Without Gain Calibration

DAC Value Applied (mA)	Loop Current Measured (mA)	
	Before Gain Calibration	After Gain Calibration
4	4.00126	3.99901
6	6.00200	5.99873
8	8.00285	7.99875
10	10.00372	9.99857
12	12.00464	11.99832
14	14.00577	13.99823
16	16.00685	15.99861
18	18.00798	17.99862
20	20.00948	19.99901





**Figure 44. DAC Gain and Offset Calibration**

As shown in [Figure 44](#), without gain calibration an error is seen in the loop current. This error increases linearly with loop current. A simple gain calibration (see [Section 4.7](#)) implemented in the MSP430 fixes this error as shown in [Figure 44](#). To increase DAC accuracy, the MSP430 MCU can also further reduce the remaining error which is offset in nature.

For reference, the distribution of the precision resistor connected to RTD input terminals versus the corresponding ideal loop current forced by the DAC is listed in [Table 7](#).

**Table 7. Ideal DAC Loop Current Versus Temperature Range**

Reference Temperature Based on Measured Precision Resistor	Ideal DAC Value based on precision resistor (mA)
-196.570346	4.05226
-149.332074	4.77208
-100.650615	5.51390
-50.776173	6.27389
0.00614	7.04771
51.555661	7.83323
103.92953	8.63131
157.147496	9.44225
211.301704	10.26745
266.349859	11.10628
322.397013	11.96034
379.431081	12.82943
437.656	13.71666
497.077256	14.62213
557.690044	15.54575
650.910269	16.96625
747.831551	18.44315
814.135104	19.45349

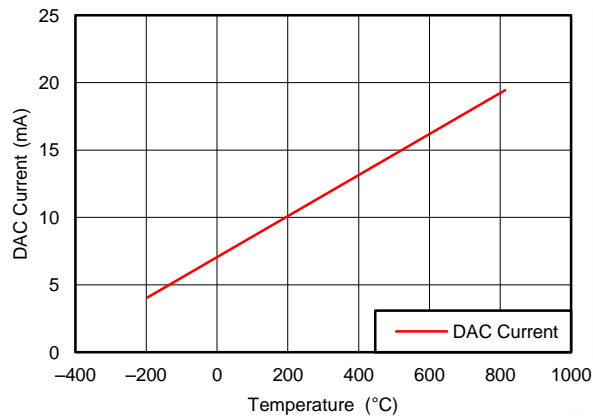


Figure 45. Ideal DAC Loop Current vs Temperature Range

### 6.6 Complete System Maximum Measured Error

After correcting the ADC and the DAC for gain and offset calibration, a complete system characterization was performed for maximum measured error (see Figure 46). In this setup, a power supply and 8.5-digit multimeter was used for loop current measurement. As shown in Figure 45, multiple precision resistor values covering  $-200^{\circ}\text{C}$  to  $850^{\circ}\text{C}$  similar to those used in Figure 39.

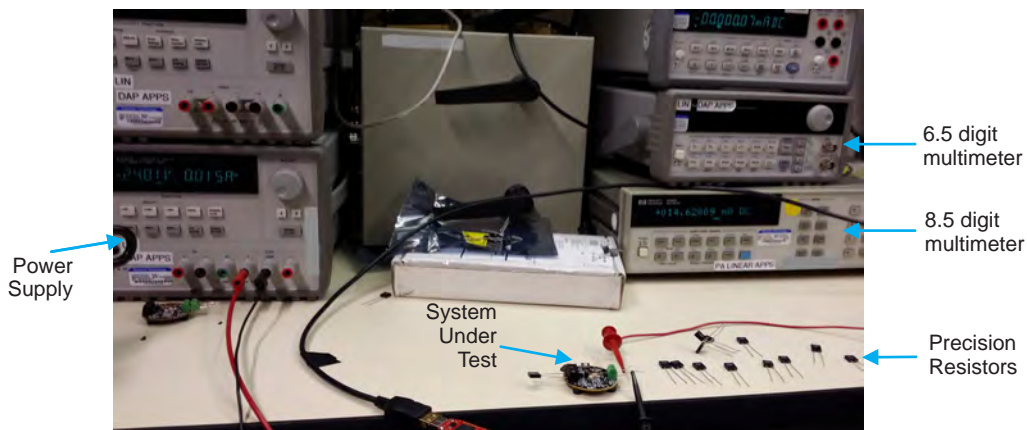
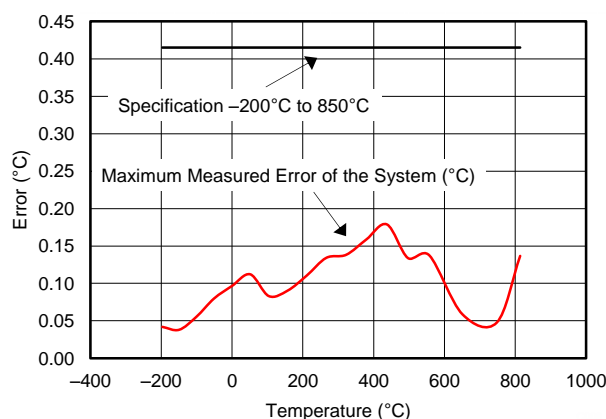


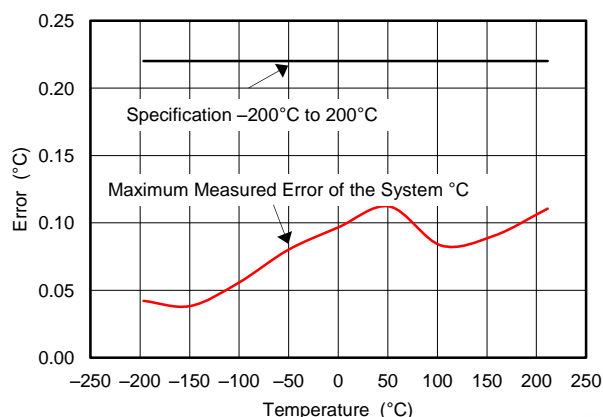
Figure 46. Complete System Characterization Setup

**Table 8. Maximum Measured Error of the System**

Reference Temperature Based on Measured Precision Resistor	Ideal DAC Value based on precision resistor (mA)	Measured Loop Current Value of the System (mA)
-196.570346	4.05226	4.05162
-149.332074	4.77208	4.7715
-100.650615	5.51390	5.51305
-50.776173	6.27389	6.27267
0.00614	7.04771	7.04624
51.555661	7.83323	7.83152
103.92953	8.63131	8.63004
157.147496	9.44225	9.44087
211.301704	10.26745	10.26577
266.349859	11.10628	11.10424
322.397013	11.96034	11.95823
379.431081	12.82943	12.82701
437.656	13.71666	13.71394
497.077256	14.62213	14.62009
557.690044	15.54575	15.54366
650.910269	16.96625	16.96715
747.831551	18.44315	18.44242
814.135104	19.45349	19.45557



**Figure 47. Maximum Measured Error of the Complete System Across -200°C to 850°C**



**Figure 48. Maximum Measured Error of the Complete System Across -200°C to 200°C**

### 6.7 Power Supply Influence

For the power-supply influence test, the power supply was vetted from 10 V to 30 V and the corresponding loop-current change was recorded. A 100-Ω precision resistor was connected to the RTD inputs for this measurement (see Figure 46). The total deviation of loop current across the power supply range was less than 0.30 μA.

### 6.8 Reverse Polarity Test

For the reverse polarity test, the power leads are connected to J1 without any polarized capacitor as shown in Figure 49.

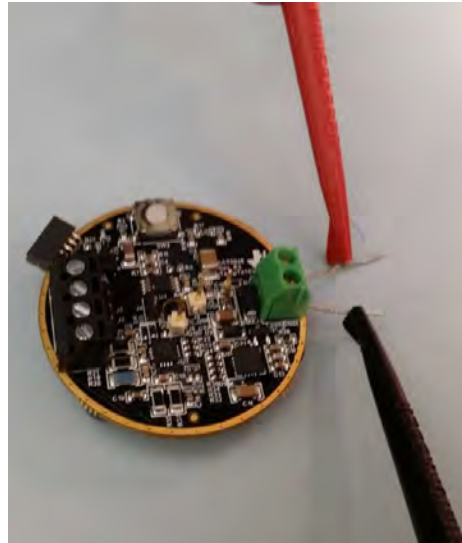
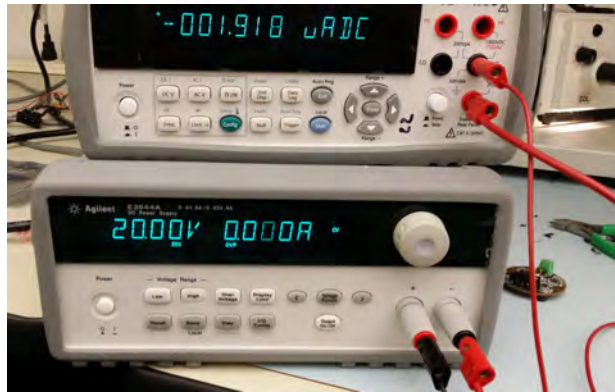


Figure 49. Reverse Polarity Test Setup



Figure 50. Reverse Polarity Setup With Correct Polarity

By default, an unprogrammed system draws 3.37 mA.



**Figure 51. Reverse Polarity Measurement With Inverted Polarity**

The leakage current of the system is only approximately  $2\ \mu\text{A}$  with reverse polarity applied.

## 6.9 Loop Power Consumption

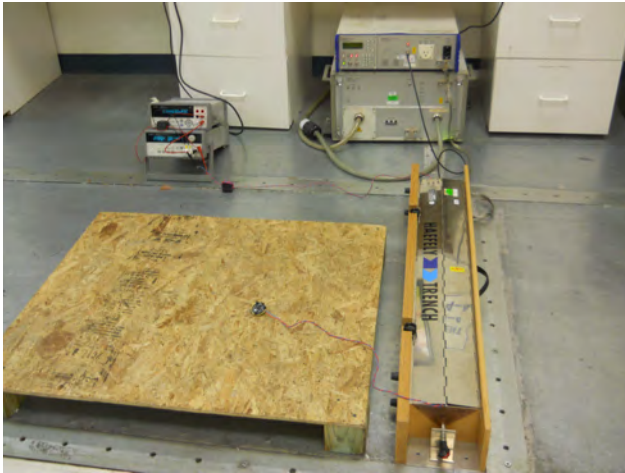
The total loop power consumed by the design is 1.435 mA. [Table 9](#) lists the total current consumed by each device.

**Table 9. Loop Power Consumption**

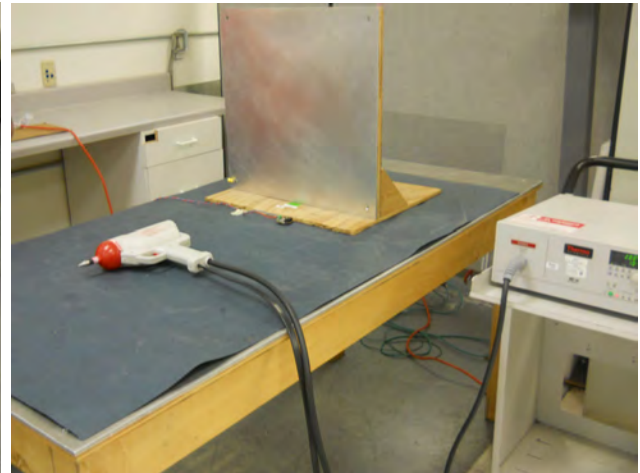
DEVICE	CURRENT
ADS1220	$340\ \mu\text{A} + 75\ \mu\text{A} + 500\ \mu\text{A}$ (biasing currents) = $915\ \mu\text{A}$ (PGA 16, normal mode, sample rate of 20 SPS)
DAC161S997	$100\ \mu\text{A}$
MSP430G2513	$360\ \mu\text{A}$ (Active Mode Current at 1 MHz, 3.3 V)
TPS7A4901	$60\ \mu\text{A}$

For a loop powered system, having a low power consumption of approximately 1.4 mA ensures that the remainder of the budget (approximately  $[3.3\ \text{mA} - 1.4\ \text{mA}] =$  approximately 1.9 mA) can be used for system-level functions such as HART modem implementation.

**6.10 IEC 61000-4-4 and IEC61000-4-2 Protection**



**Figure 52. IEC61000-4-4 EFT Setup**



**Figure 53. IEC61000-4-2 ESD Setup**

For both IEC61000-4-4 and IEC61000-4-2 tests, the system was powered and loop current was measured before, during, and after the strike. In both the tests, the maximum deviation of the loop current measured was less than 3.5  $\mu$ A which corresponds to 0.21°C (see [Figure 47](#)).

---

**NOTE:** IEC61000 tests were only performed on loop power inputs or the J1 connector.

---

**Table 10. IEC61000 Test Data**

IEC61000 TEST	RESULTS
IEC ESD on Loop Power	IEC61000-4-2, ESD: Horizontal Coupling Plane. Vertical Coupling Plane: $\pm 4$ kV — Class A
	IEC61000-4-2, ESD: Air Discharge: $\pm 8$ kV — Class A
IEC EFT on Loop Power	IEC61000-4-4: EFT $\pm 2$ kV — Class A



7 Schematics

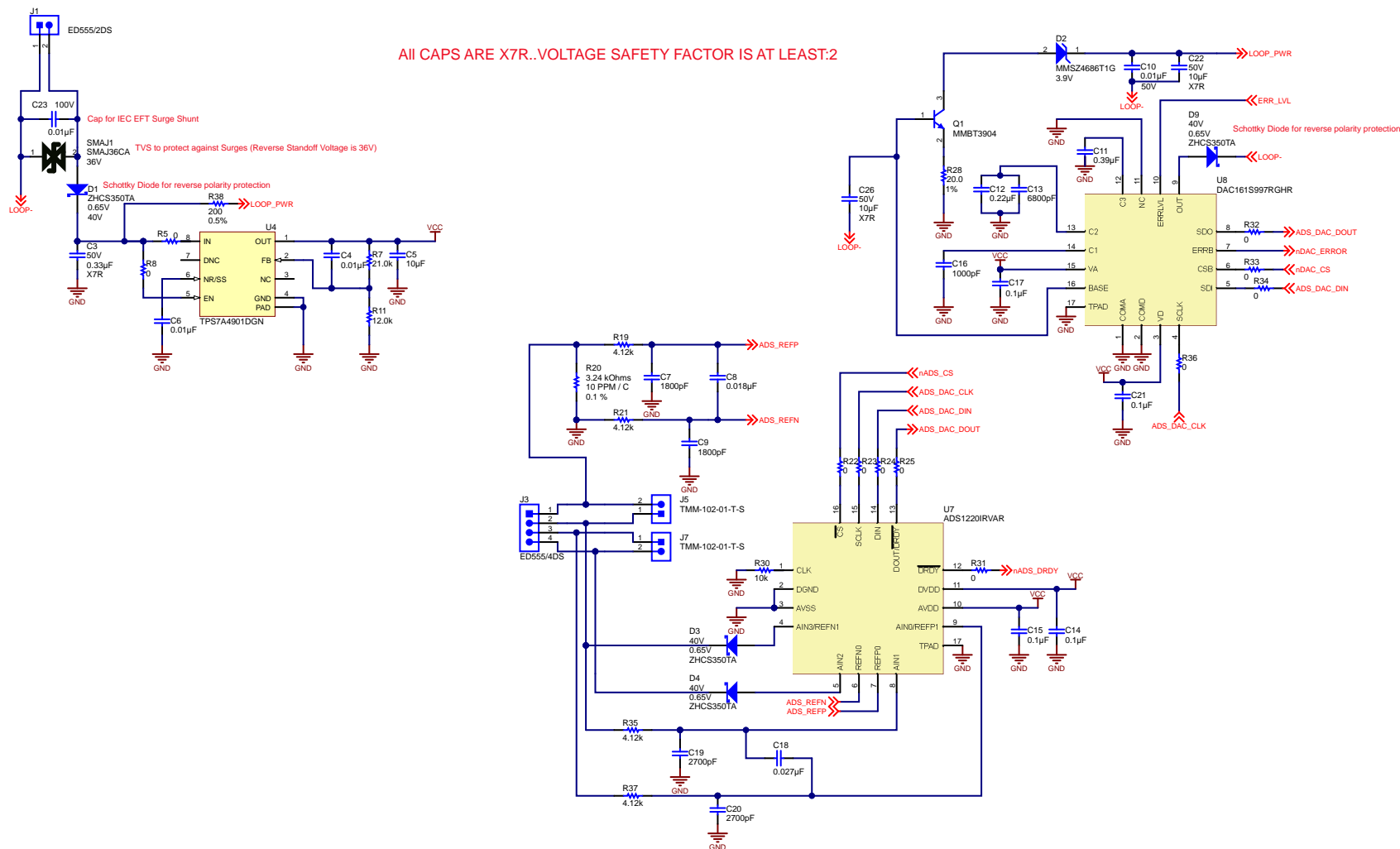


Figure 54. ADS1220, DAC161S997, Power Section

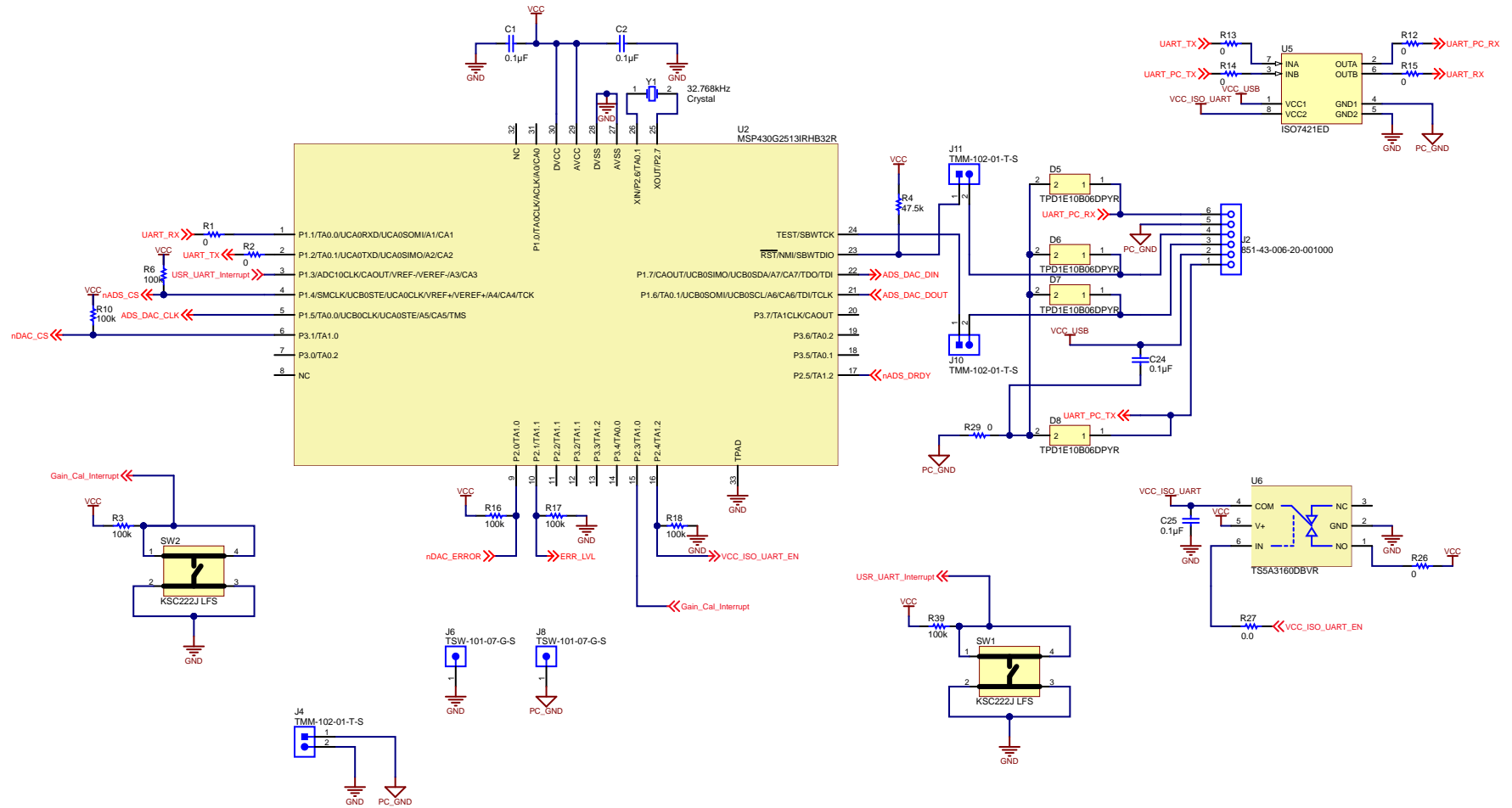


Figure 55. MSP430 Section

## 8 Bill of Materials

To download the bill of materials (BOM) for each board, see the design files at [www.ti.com/tool/TIDA-0095](http://www.ti.com/tool/TIDA-0095). Table 11 lists the BOM.

**Table 11. BOM**

Designator	Quantity	Value	Description	PackageReference	PartNumber	Manufacturer
!PCB1	1		Printed Circuit Board		SAT0046	Any
C1, C2, C14, C15, C17, C21, C24, C25	8	0.1 $\mu$ F	CAP, CERM, 0.1 $\mu$ F, 16 V, $\pm$ 10%, X7R, 0603	0603	C0603X104K4RACTU	Kemet
C3	1	0.33 $\mu$ F	CAP, CERM, 0.33 $\mu$ F, 50 V, $\pm$ 10%, X7R, 1206	1206	12065C334KAT2A	AVX
C4, C6, C10	3	0.01 $\mu$ F	CAP, CERM, 0.01 $\mu$ F, 50 V, $\pm$ 5%, X7R, 0603	0603	C0603C103J5RACTU	Kemet
C5	1	10 $\mu$ F	CAP, CERM, 10 $\mu$ F, 16 V, $\pm$ 10%, X7R, 1206	1206	GRM31CR71C106KAC7L	MuRata
C7, C9	2	1800 pF	CAP CER 1800PF 100 V 10% X7R 0603	eg: 0603, used in PnP report	Used in BOM report	Used in BOM report
C8	1	0.018 $\mu$ F	CAP, CERM, 0.018 $\mu$ F, 100 V, $\pm$ 10%, X7R, 0603	0603	C0603C183K1RACTU	Kemet
C11	1	0.39 $\mu$ F	CAP, CERM, 0.39 $\mu$ F, 50V, $\pm$ 10%, X7R, 1206	1206	GRM31MR71H394KA01L	MuRata
C12	1	0.22 $\mu$ F	CAP, CERM, 0.22 $\mu$ F, 50V, $\pm$ 5%, X7R, 1206	1206	C1206C224J5RACTU	Kemet
C13	1	6800 pF	CAP, CERM, 6800pF, 50V, $\pm$ 5%, X7R, 0603	0603	C0603C682J5RACTU	Kemet
C16	1	1000 pF	CAP, CERM, 1000pF, 50V, $\pm$ 5%, X7R, 0603	0603	C0603C102J5RACTU	Kemet
C18	1	0.027 $\mu$ F	CAP, CERM, 0.027 $\mu$ F, 100V, $\pm$ 10%, X7R, 0603	0603	C0603C273K1RACTU	Kemet
C19, C20	2	2700 pF	CAP CER 2700PF 100V 10% X7R 0603	eg: 0603, used in PnP report	Used in BOM report	Used in BOM report
C22, C26	2	10 $\mu$ F	CAP, CERM, 10 $\mu$ F, 50V, $\pm$ 10%, X7R, 1210	1210	GRM32ER71H106KA12L	MuRata
C23	1	0.01 $\mu$ F	CAP, CERM, 0.01 $\mu$ F, 100V, $\pm$ 10%, X7R, 0603	0603	C1608X7R2A103K	TDK
D1, D3, D4, D9	4	0.65 V	Diode, Schottky, 40V, 0.35A, SOD-523	SOD-523	ZHCS350TA	Diodes Inc.
D2	1	3.9 V	Diode, Zener, 3.9V, 500mW, SOD-123	SOD-123	MMSZ4686T1G	ON Semiconductor
D5, D6, D7, D8	4		ESD in 0402 Package with 10 pF Capacitance and 6 V Breakdown, 1 Channel, $-40^{\circ}$ C to $125^{\circ}$ C, 2-pin X2SON (DPY), Green (RoHS and no Sb/Br)	DPY0002A	TPD1E10B06DPYR	Texas Instruments
FID1, FID2, FID3, FID4, FID5, FID6	6		Fiducial mark. There is nothing to buy or mount.	Fiducial	N/A	N/A
H1, H2, H3	3		Bumpon, Cylindrical, 0.312 X 0.200, Black	Black Bumpon	SJ61A1	3M
J1	1		Terminal Block, 6A, 3.5mm Pitch, 2-Pos, TH	7.0x8.2x6.5mm	ED555/2DS	On-Shore Technology
J2	1		Receptacle, 50mil, 6x1, R/A, TH	Receptacle, 6x1, 50mil pitch, R/A	851-43-006-20-001000	Mill-Max
J3	1		Terminal Block, 6A, 3.5mm Pitch, 4-Pos, TH	14x8.2x6.5mm	ED555/4DS	On-Shore Technology
J4, J5, J7, J10, J11	5		Header, 2mm, 2x1, Tin, TH	Header, 2mm, 2x1	TMM-102-01-T-S	Samtec

Table 11. BOM (continued)

Designator	Quantity	Value	Description	PackageReference	PartNumber	Manufacturer
J6, J8	2		Header, TH, 100mil, 1pos, Gold plated, 230 mil above insulator	Testpoint	TSW-101-07-G-S	Samtec
Q1	1	0.2 V	Transistor, NPN, 40V, 0.2A, SOT-23	SOT-23	MMBT3904	Fairchild Semiconductor
R1, R2, R5, R8, R12, R13, R14, R15, R22, R23, R24, R25, R26, R29, R31, R32, R33, R34, R36	19	0	RES, 0 ohm, 5%, 0.063W, 0402	0402	CRCW04020000Z0ED	Vishay-Dale
R3, R6, R10, R16, R17, R18, R39	7	100k	RES, 100 kΩ, 0.1%, 0.1W, 0603	0603	RT0603BRD07100KL	Yageo America
R4	1	47.5k	RES, 47.5 kΩ, 0.1%, 0.1W, 0603	0603	RG1608P-4752-B-T5	Susumu Co Ltd
R7	1	21.0k	RES, 21.0 kΩ, 1%, 0.1W, 0603	0603	RC0603FR-0721KL	Yageo America
R11	1	12.0k	RES, 12.0 kΩ, 1%, 0.1W, 0603	0603	RC0603FR-0712KL	Yageo America
R19, R21, R35, R37	4	4.12k	RES 4.12 kΩ 1/4W .1% 1206 SMD	1206 (3216 Metric)	ERA-8AEB4121V	Panasonic Electronic Components
R20	1	3.24 kΩ	Thin Film Resistors - SMD 3.24K .1% 10ppm	1206 (3216 metric)	PFC-W1206R-12-3241-B	IRC / TT electronics
R27	1	0.0	RES 0.0 OHM 1/10W JUMP 0603 SMD	0603 (1608 Metric)	ERJ-3GEY0R00V	Panasonic Electronic Components
R28	1	20.0	RES, 20.0 ohm, 1%, 0.1W, 0603	0603	CRCW060320R0FKEA	Vishay-Dale
R30	1	10k	RES, xxx ohm, x%, xW, [PackageReference]	0402 (1005 Metric)	CRCW040210K0FKEDHP	Vishay Dale
R38	1	200	RES, 200 ohm, 0.5%, 0.1W, 0603	0603	RT0603DRE07200RL	Yageo America
SMAJ1	1		DIODE TVS 36V 400W BI 5% SMD	DO-214AC, SMA	SMAJ36CA	Bourns Inc.
SW1, SW2	2		SWITCH TACTILE SPST-NO 0.05A 32V		KSC222J LFS	C&K Components
U2	1		IC MCU 16BIT 16KB FLASH 32QFN	32-VFQFN Exposed Pad	MSP430G2513IRHB32R	Texas Instruments
U4	1		+36V, +150mA, Ultralow-Noise, Positive LINEAR REGULATOR, DGN0008D	DGN0008D	TPS7A4901DGN	Texas Instruments
U5	1		50 Mbps Low-Power Dual Channels Digital Isolator, 3.3 V / 5 V, -40 to +125 degC, 8-pin SOIC (D), Green (RoHS and no Sb/Br)	D0008A	ISO7421ED	Texas Instruments
U6	1		IC SWITCH SPDT SOT23-6		TS5A3160DBVR	Texas Instruments
U7	1		Low-Power, Low-Noise, 24-Bit, Analog-to-Digital Converter for Small-Signal Sensors		ADS1220IRVAR	Texas Instruments
U8	1		IC DAC 16BIT SPI/SRL 16WQFN	16-WFQFN Exposed Pad	DAC161S997RGHR	Texas Instruments
Y1	1		Crystal, 32.768kHz, 12.5pF, SMD	2-SMD	NX3215SA-32.768K-STD-MUS-2	NDK

## 9 Layer Plots

To download the layer plots for each board, see the design files at [www.ti.com/tool/TIDA-0095](http://www.ti.com/tool/TIDA-0095). Figure 56 shows the layer plots.



Figure 56. Layer Plot

## 10 Altium Project

To download the Altium project files for each board, see the design files at [www.ti.com/tool/TIDA-0095](http://www.ti.com/tool/TIDA-0095). Figure 57, Figure 58, Figure 59, Figure 60, and Figure 61 show the layout.

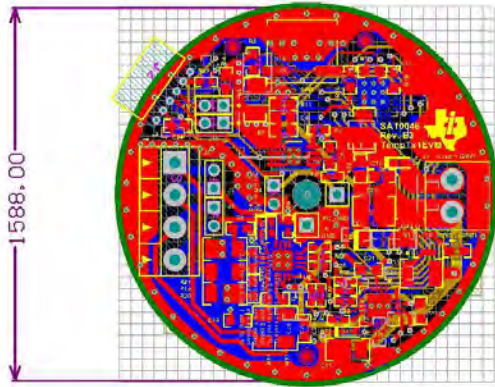


Figure 57. All Layers

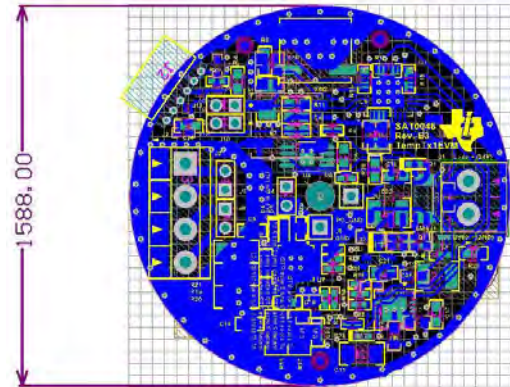


Figure 58. Bottom Layer

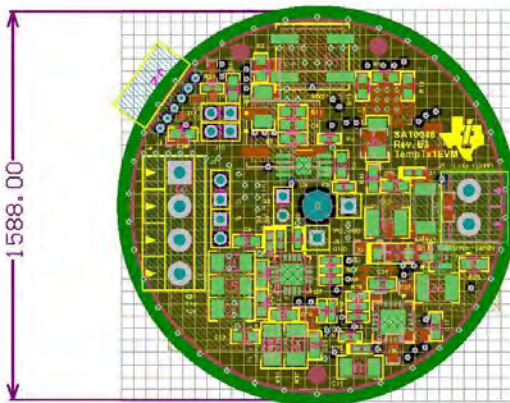


Figure 59. Ground Layer

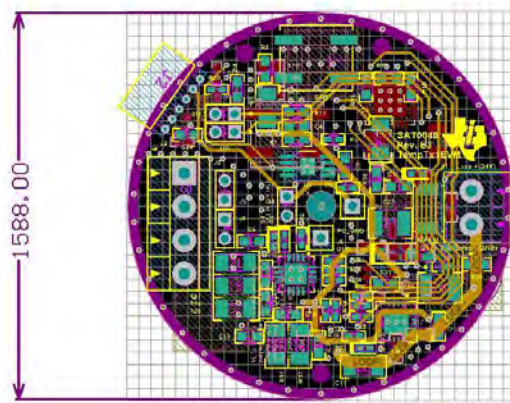


Figure 60. Inner Layer

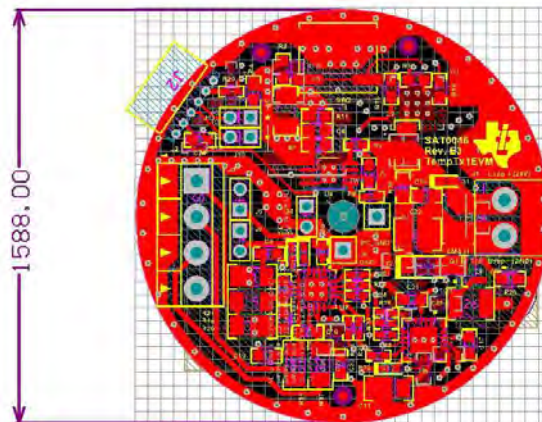
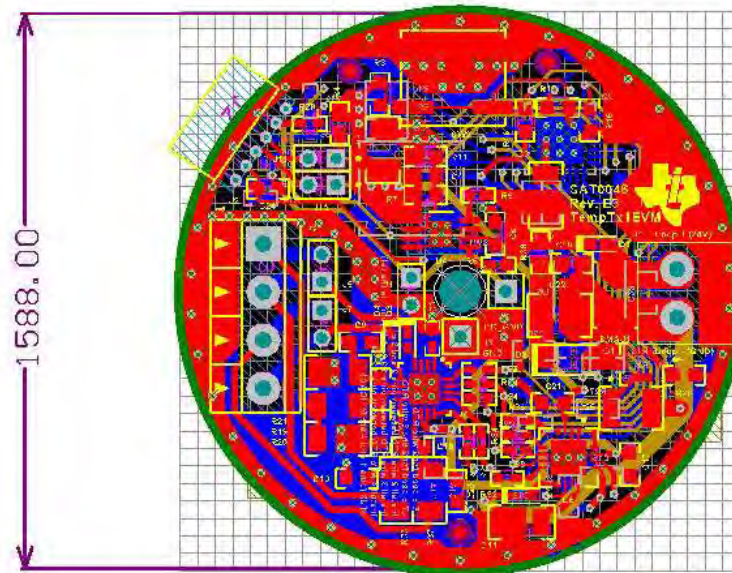


Figure 61. Top Layer

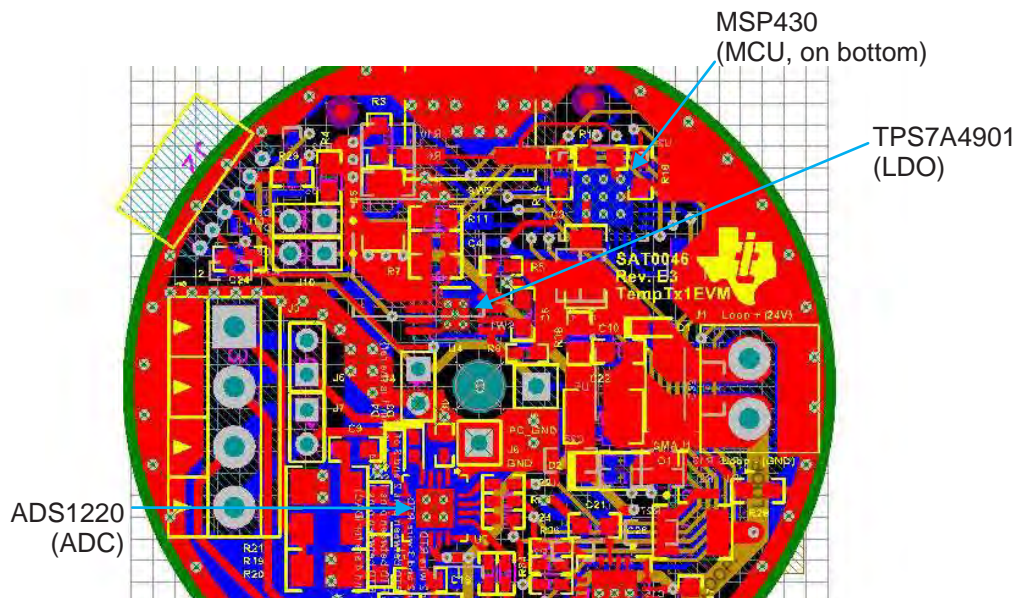


## 11 Layout Guidelines



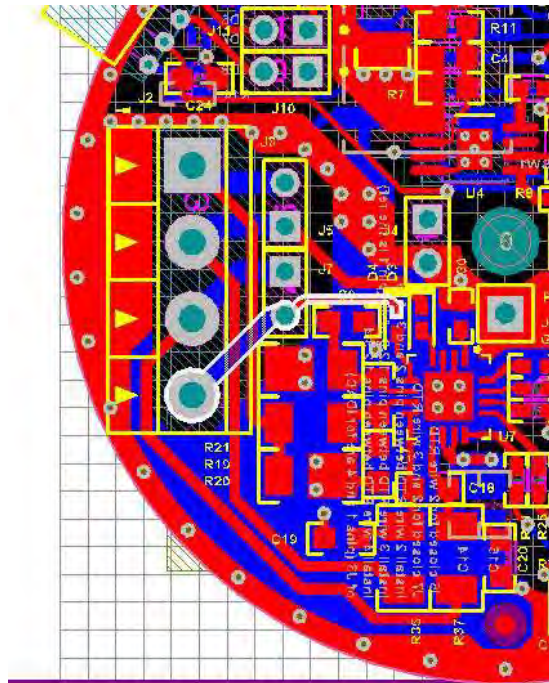
**Figure 62. Via Stitching**

To ensure high performance analog design, the ADS1220 device and the RTD inputs are isolated from the rest of the design through extensive ground via stitching. Any unused planes were stitched with ground vias as well.



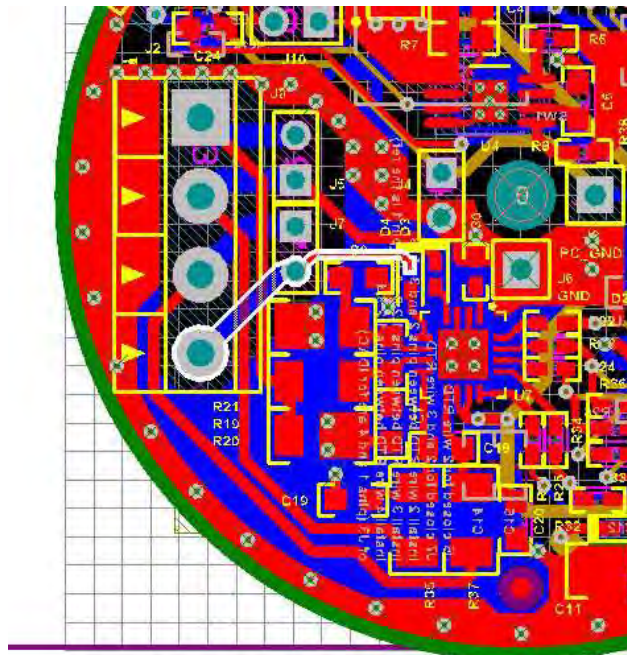
**Figure 63. MSP430 and LDO With Respect to Analog Section**

The MSP430 MCU and the LDO were placed as far as possible away from the ADS1220 device with no digital routes in the ADS1220 section.



**Figure 64. RTD Inputs**

RTD inputs were routed without any vias other than the through-hole jumpers.



**Figure 65. ADS1220 Section**

No digital routes in the ADS1220 section.

## 12 Gerber Files

To download the Gerber files for each board, see the design files at [www.ti.com/tool/TIDA-0095](http://www.ti.com/tool/TIDA-0095).

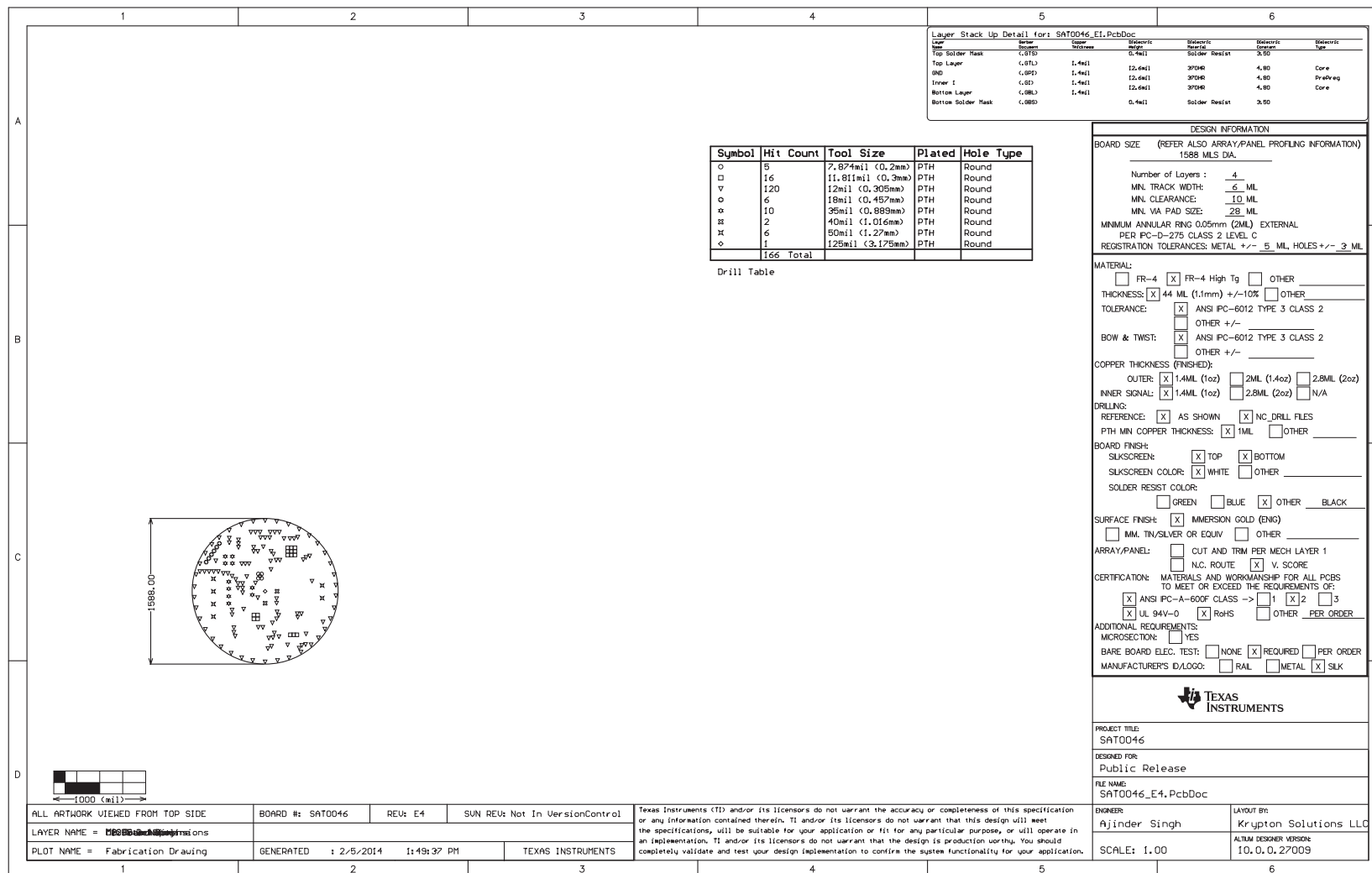


Figure 66. Fab Drawing

## 13 Assembly Drawings

To download the assembly drawings for the reference design, see the design files at [www.ti.com/tool/TIDA-0095](http://www.ti.com/tool/TIDA-0095).

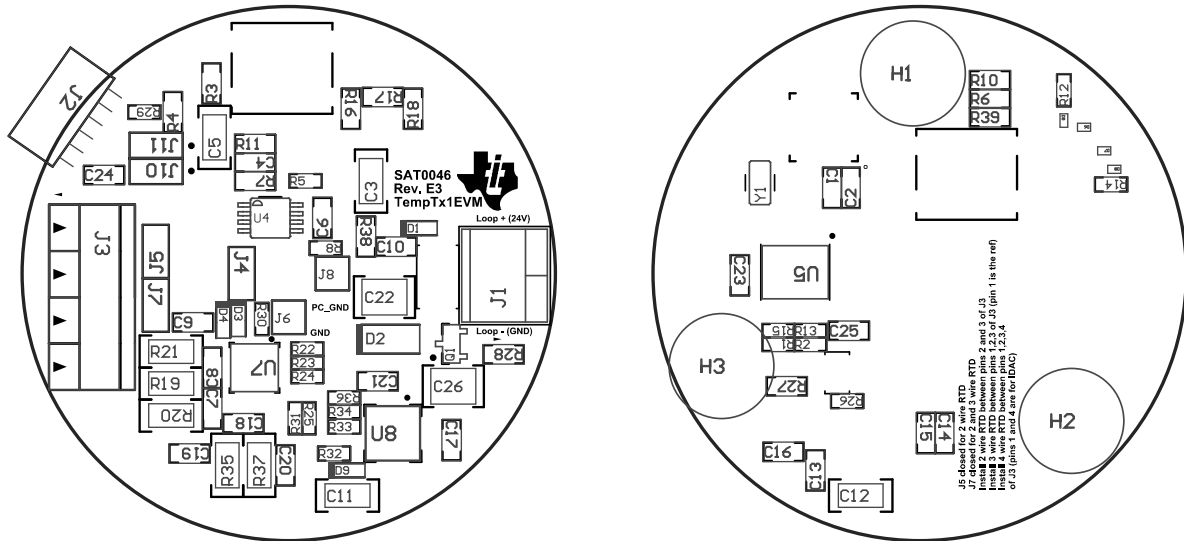


Figure 67. Assembly Drawings

## 14 Software Files

To download the software files for the reference design, see the design files at [www.ti.com/tool/TIDA-0095](http://www.ti.com/tool/TIDA-0095).

## 15 References

For additional references, see the following:

1. Application Report, *RTD Ratiometric Measurements and Filtering Using the ADS1148 and ADS1248 Family of Devices*, [SBAA201](#)
2. TI Precision Design Guide, *0-1A, Single-Supply, Low-Side, Current Sensing Solution*, [TIDU040](#)
3. TI Precision Design Guide, *Hardware-Compensated Ratiometric 3-Wire RTD System, 0°C – 100°C, 0.005°C Error*, [TIDU045](#)
4. ADS1220 Data Sheet, [SBAS501](#)
5. DAC161S997 Data Sheet, [SNAS621](#)
6. MSP430G2513 Data Sheet, [SLAS735](#)
7. TPS7A4901 Data Sheet, [SBVS121](#)

## 16 About the Author

**AJINDER PAL SINGH** is a Systems Architect at Texas Instruments where he is responsible for developing reference design solutions for the industrial segment. Ajinder brings to this role his extensive experience in high-speed digital, low-noise analog and RF system-level design expertise. Ajinder earned his Master of Science in Electrical Engineering (MSEE) from Texas Tech University in Lubbock, TX. Ajinder is a member of the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE).



## Revision History

Changes from Original (January 2014) to A Revision	Page
• Changed schematic in <a href="#">Figure 16</a> for board revision to E4 .....	19
• Changed schematic in <a href="#">Figure 17</a> for board revision to E4 .....	20
• Changed schematic in <a href="#">Figure 18</a> for board revision to E4 .....	20
• Added the <i>Power Supply Sequencing</i> section and schematic image showing capacitors C3, C22, and C26 .....	21
• Changed schematic and board layout in <a href="#">Figure 20</a> for board revision to E4 .....	22
• Changed schematic images <a href="#">Figure 54</a> and <a href="#">Figure 55</a> for board revision to E4 .....	44
• Changed BOM in <a href="#">Table 11</a> for board revision to E4 .....	46
• Changed layer plot images in <a href="#">Figure 56</a> for board revision to E4. Added two new layer plot images. ....	48
• Changed Altium layout images in <a href="#">Figure 57</a> , <a href="#">Figure 58</a> , <a href="#">Figure 59</a> , <a href="#">Figure 60</a> , and <a href="#">Figure 61</a> for board revision to E4 ..	49
• Changed the fab drawing in <a href="#">Figure 66</a> for board revision to E4 .....	52
• Added the assembly drawings in <a href="#">Figure 67</a> for board revision to E4 .....	53

NOTE: Page numbers for previous revisions may differ from page numbers in the current version.

## EVALUATION BOARD/KIT/MODULE (EVM) ADDITIONAL TERMS

Texas Instruments (TI) provides the enclosed Evaluation Board/Kit/Module (EVM) under the following conditions:

The user assumes all responsibility and liability for proper and safe handling of the goods. Further, the user indemnifies TI from all claims arising from the handling or use of the goods.

Should this evaluation board/kit not meet the specifications indicated in the User's Guide, the board/kit may be returned within 30 days from the date of delivery for a full refund. THE FOREGOING LIMITED WARRANTY IS THE EXCLUSIVE WARRANTY MADE BY SELLER TO BUYER AND IS IN LIEU OF ALL OTHER WARRANTIES, EXPRESSED, IMPLIED, OR STATUTORY, INCLUDING ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE. EXCEPT TO THE EXTENT OF THE INDEMNITY SET FORTH ABOVE, NEITHER PARTY SHALL BE LIABLE TO THE OTHER FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES.

Please read the User's Guide and, specifically, the Warnings and Restrictions notice in the User's Guide prior to handling the product. This notice contains important safety information about temperatures and voltages. For additional information on TI's environmental and/or safety programs, please visit [www.ti.com/esh](http://www.ti.com/esh) or contact TI.

No license is granted under any patent right or other intellectual property right of TI covering or relating to any machine, process, or combination in which such TI products or services might be or are used. TI currently deals with a variety of customers for products, and therefore our arrangement with the user is not exclusive. TI assumes no liability for applications assistance, customer product design, software performance, or infringement of patents or services described herein.

## REGULATORY COMPLIANCE INFORMATION

As noted in the EVM User's Guide and/or EVM itself, this EVM and/or accompanying hardware may or may not be subject to the Federal Communications Commission (FCC) and Industry Canada (IC) rules.

For EVMs **not** subject to the above rules, this evaluation board/kit/module is intended for use for ENGINEERING DEVELOPMENT, DEMONSTRATION OR EVALUATION PURPOSES ONLY and is not considered by TI to be a finished end product fit for general consumer use. It generates, uses, and can radiate radio frequency energy and has not been tested for compliance with the limits of computing devices pursuant to part 15 of FCC or ICES-003 rules, which are designed to provide reasonable protection against radio frequency interference. Operation of the equipment may cause interference with radio communications, in which case the user at his own expense will be required to take whatever measures may be required to correct this interference.

### **General Statement for EVMs including a radio**

*User Power/Frequency Use Obligations:* This radio is intended for development/professional use only in legally allocated frequency and power limits. Any use of radio frequencies and/or power availability of this EVM and its development application(s) must comply with local laws governing radio spectrum allocation and power limits for this evaluation module. It is the user's sole responsibility to only operate this radio in legally acceptable frequency space and within legally mandated power limitations. Any exceptions to this are strictly prohibited and unauthorized by Texas Instruments unless user has obtained appropriate experimental/development licenses from local regulatory authorities, which is responsibility of user including its acceptable authorization.

### **For EVMs annotated as FCC – FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION Part 15 Compliant**

#### **Caution**

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

#### **FCC Interference Statement for Class A EVM devices**

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.



### **FCC Interference Statement for Class B EVM devices**

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

### **For EVMs annotated as IC – INDUSTRY CANADA Compliant**

This Class A or B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

### **Concerning EVMs including radio transmitters**

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

### **Concerning EVMs including detachable antennas**

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada. To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (e.i.r.p.) is not more than that necessary for successful communication.

This radio transmitter has been approved by Industry Canada to operate with the antenna types listed in the user guide with the maximum permissible gain and required antenna impedance for each antenna type indicated. Antenna types not included in this list, having a gain greater than the maximum gain indicated for that type, are strictly prohibited for use with this device.

Cet appareil numérique de la classe A ou B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Les changements ou les modifications pas expressément approuvés par la partie responsable de la conformité ont pu vider l'autorité de l'utilisateur pour actionner l'équipement.

### **Concernant les EVMs avec appareils radio**

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

### **Concernant les EVMs avec antennes détachables**

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

Le présent émetteur radio a été approuvé par Industrie Canada pour fonctionner avec les types d'antenne énumérés dans le manuel d'usage et ayant un gain admissible maximal et l'impédance requise pour chaque type d'antenne. Les types d'antenne non inclus dans cette liste, ou dont le gain est supérieur au gain maximal indiqué, sont strictement interdits pour l'exploitation de l'émetteur.

## **【Important Notice for Users of EVMs for RF Products in Japan】**

**This development kit is NOT certified as Confirming to Technical Regulations of Radio Law of Japan**

If you use this product in Japan, you are required by Radio Law of Japan to follow the instructions below with respect to this product:

1. Use this product in a shielded room or any other test facility as defined in the notification #173 issued by Ministry of Internal Affairs and Communications on March 28, 2006, based on Sub-section 1.1 of Article 6 of the Ministry's Rule for Enforcement of Radio Law of Japan,
2. Use this product only after you obtained the license of Test Radio Station as provided in Radio Law of Japan with respect to this product, or
3. Use of this product only after you obtained the Technical Regulations Conformity Certification as provided in Radio Law of Japan with respect to this product. Also, please do not transfer this product, unless you give the same notice above to the transferee. Please note that if you could not follow the instructions above, you will be subject to penalties of Radio Law of Japan.

**Texas Instruments Japan Limited**  
**(address) 24-1, Nishi-Shinjuku 6 chome, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan**

<http://www.tij.co.jp>

### **【無線電波を送信する製品の開発キットをお使いになる際の注意事項】**

本開発キットは技術基準適合証明を受けておりません。

本製品のご使用に際しては、電波法遵守のため、以下のいずれかの措置を取っていただく必要がありますのでご注意ください。

1. 電波法施行規則第6条第1項第1号に基づく平成18年3月28日総務省告示第173号で定められた電波暗室等の試験設備でご使用いただく。
2. 実験局の免許を取得後ご使用いただく。
3. 技術基準適合証明を取得後ご使用いただく。

なお、本製品は、上記の「ご使用にあたっての注意」を譲渡先、移転先に通知しない限り、譲渡、移転できないものとします。

上記を遵守頂けない場合は、電波法の罰則が適用される可能性があることをご留意ください。

日本テキサス・インスツルメンツ株式会社

東京都新宿区西新宿 6 丁目 2 4 番 1 号

西新宿三井ビル

<http://www.tij.co.jp>

## **EVALUATION BOARD/KIT/MODULE (EVM) WARNINGS, RESTRICTIONS AND DISCLAIMERS**

**For Feasibility Evaluation Only, in Laboratory/Development Environments.** Unless otherwise indicated, this EVM is not a finished electrical equipment and not intended for consumer use. It is intended solely for use for preliminary feasibility evaluation in laboratory/development environments by technically qualified electronics experts who are familiar with the dangers and application risks associated with handling electrical mechanical components, systems and subsystems. It should not be used as all or part of a finished end product.

Your Sole Responsibility and Risk. You acknowledge, represent and agree that:

1. You have unique knowledge concerning Federal, State and local regulatory requirements (including but not limited to Food and Drug Administration regulations, if applicable) which relate to your products and which relate to your use (and/or that of your employees, affiliates, contractors or designees) of the EVM for evaluation, testing and other purposes.
2. You have full and exclusive responsibility to assure the safety and compliance of your products with all such laws and other applicable regulatory requirements, and also to assure the safety of any activities to be conducted by you and/or your employees, affiliates, contractors or designees, using the EVM. Further, you are responsible to assure that any interfaces (electronic and/or mechanical) between the EVM and any human body are designed with suitable isolation and means to safely limit accessible leakage currents to minimize the risk of electrical shock hazard.
3. Since the EVM is not a completed product, it may not meet all applicable regulatory and safety compliance standards (such as UL, CSA, VDE, CE, RoHS and WEEE) which may normally be associated with similar items. You assume full responsibility to determine and/or assure compliance with any such standards and related certifications as may be applicable. You will employ reasonable safeguards to ensure that your use of the EVM will not result in any property damage, injury or death, even if the EVM should fail to perform as described or expected.
4. You will take care of proper disposal and recycling of the EVM's electronic components and packing materials.

**Certain Instructions.** It is important to operate this EVM within TI's recommended specifications and environmental considerations per the user guidelines. Exceeding the specified EVM ratings (including but not limited to input and output voltage, current, power, and environmental ranges) may cause property damage, personal injury or death. If there are questions concerning these ratings please contact a TI field representative prior to connecting interface electronics including input power and intended loads. Any loads applied outside of the specified output range may result in unintended and/or inaccurate operation and/or possible permanent damage to the EVM and/or interface electronics. Please consult the EVM User's Guide prior to connecting any load to the EVM output. If there is uncertainty as to the load specification, please contact a TI field representative. During normal operation, some circuit components may have case temperatures greater than 60°C as long as the input and output are maintained at a normal ambient operating temperature. These components include but are not limited to linear regulators, switching transistors, pass transistors, and current sense resistors which can be identified using the EVM schematic located in the EVM User's Guide. When placing measurement probes near these devices during normal operation, please be aware that these devices may be very warm to the touch. As with all electronic evaluation tools, only qualified personnel knowledgeable in electronic measurement and diagnostics normally found in development environments should use these EVMs.

**Agreement to Defend, Indemnify and Hold Harmless.** You agree to defend, indemnify and hold TI, its licensors and their representatives harmless from and against any and all claims, damages, losses, expenses, costs and liabilities (collectively, "Claims") arising out of or in connection with any use of the EVM that is not in accordance with the terms of the agreement. This obligation shall apply whether Claims arise under law of tort or contract or any other legal theory, and even if the EVM fails to perform as described or expected.

**Safety-Critical or Life-Critical Applications.** If you intend to evaluate the components for possible use in safety critical applications (such as life support) where a failure of the TI product would reasonably be expected to cause severe personal injury or death, such as devices which are classified as FDA Class III or similar classification, then you must specifically notify TI of such intent and enter into a separate Assurance and Indemnity Agreement.

Mailing Address: Texas Instruments, Post Office Box 655303, Dallas, Texas 75265  
Copyright © 2014, Texas Instruments Incorporated

## IMPORTANT NOTICE FOR TI REFERENCE DESIGNS

Texas Instruments Incorporated ("TI") reference designs are solely intended to assist designers ("Buyers") who are developing systems that incorporate TI semiconductor products (also referred to herein as "components"). Buyer understands and agrees that Buyer remains responsible for using its independent analysis, evaluation and judgment in designing Buyer's systems and products.

TI reference designs have been created using standard laboratory conditions and engineering practices. **TI has not conducted any testing other than that specifically described in the published documentation for a particular reference design.** TI may make corrections, enhancements, improvements and other changes to its reference designs.

Buyers are authorized to use TI reference designs with the TI component(s) identified in each particular reference design and to modify the reference design in the development of their end products. HOWEVER, NO OTHER LICENSE, EXPRESS OR IMPLIED, BY ESTOPPEL OR OTHERWISE TO ANY OTHER TI INTELLECTUAL PROPERTY RIGHT, AND NO LICENSE TO ANY THIRD PARTY TECHNOLOGY OR INTELLECTUAL PROPERTY RIGHT, IS GRANTED HEREIN, including but not limited to any patent right, copyright, mask work right, or other intellectual property right relating to any combination, machine, or process in which TI components or services are used. Information published by TI regarding third-party products or services does not constitute a license to use such products or services, or a warranty or endorsement thereof. Use of such information may require a license from a third party under the patents or other intellectual property of the third party, or a license from TI under the patents or other intellectual property of TI.

TI REFERENCE DESIGNS ARE PROVIDED "AS IS". TI MAKES NO WARRANTIES OR REPRESENTATIONS WITH REGARD TO THE REFERENCE DESIGNS OR USE OF THE REFERENCE DESIGNS, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING ACCURACY OR COMPLETENESS. TI DISCLAIMS ANY WARRANTY OF TITLE AND ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, QUIET ENJOYMENT, QUIET POSSESSION, AND NON-INFRINGEMENT OF ANY THIRD PARTY INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS WITH REGARD TO TI REFERENCE DESIGNS OR USE THEREOF. TI SHALL NOT BE LIABLE FOR AND SHALL NOT DEFEND OR INDEMNIFY BUYERS AGAINST ANY THIRD PARTY INFRINGEMENT CLAIM THAT RELATES TO OR IS BASED ON A COMBINATION OF COMPONENTS PROVIDED IN A TI REFERENCE DESIGN. IN NO EVENT SHALL TI BE LIABLE FOR ANY ACTUAL, SPECIAL, INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL OR INDIRECT DAMAGES, HOWEVER CAUSED, ON ANY THEORY OF LIABILITY AND WHETHER OR NOT TI HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES, ARISING IN ANY WAY OUT OF TI REFERENCE DESIGNS OR BUYER'S USE OF TI REFERENCE DESIGNS.

TI reserves the right to make corrections, enhancements, improvements and other changes to its semiconductor products and services per JESD46, latest issue, and to discontinue any product or service per JESD48, latest issue. Buyers should obtain the latest relevant information before placing orders and should verify that such information is current and complete. All semiconductor products are sold subject to TI's terms and conditions of sale supplied at the time of order acknowledgment.

TI warrants performance of its components to the specifications applicable at the time of sale, in accordance with the warranty in TI's terms and conditions of sale of semiconductor products. Testing and other quality control techniques for TI components are used to the extent TI deems necessary to support this warranty. Except where mandated by applicable law, testing of all parameters of each component is not necessarily performed.

TI assumes no liability for applications assistance or the design of Buyers' products. Buyers are responsible for their products and applications using TI components. To minimize the risks associated with Buyers' products and applications, Buyers should provide adequate design and operating safeguards.

Reproduction of significant portions of TI information in TI data books, data sheets or reference designs is permissible only if reproduction is without alteration and is accompanied by all associated warranties, conditions, limitations, and notices. TI is not responsible or liable for such altered documentation. Information of third parties may be subject to additional restrictions.

Buyer acknowledges and agrees that it is solely responsible for compliance with all legal, regulatory and safety-related requirements concerning its products, and any use of TI components in its applications, notwithstanding any applications-related information or support that may be provided by TI. Buyer represents and agrees that it has all the necessary expertise to create and implement safeguards that anticipate dangerous failures, monitor failures and their consequences, lessen the likelihood of dangerous failures and take appropriate remedial actions. Buyer will fully indemnify TI and its representatives against any damages arising out of the use of any TI components in Buyer's safety-critical applications.

In some cases, TI components may be promoted specifically to facilitate safety-related applications. With such components, TI's goal is to help enable customers to design and create their own end-product solutions that meet applicable functional safety standards and requirements. Nonetheless, such components are subject to these terms.

No TI components are authorized for use in FDA Class III (or similar life-critical medical equipment) unless authorized officers of the parties have executed an agreement specifically governing such use.

Only those TI components that TI has specifically designated as military grade or "enhanced plastic" are designed and intended for use in military/aerospace applications or environments. Buyer acknowledges and agrees that any military or aerospace use of TI components that have **not** been so designated is solely at Buyer's risk, and Buyer is solely responsible for compliance with all legal and regulatory requirements in connection with such use.

TI has specifically designated certain components as meeting ISO/TS16949 requirements, mainly for automotive use. In any case of use of non-designated products, TI will not be responsible for any failure to meet ISO/TS16949.